

緑地の多面的価値評価と 民間企業の活用事例

公益財団法人都市緑化機構
企画調査部 菊池佐智子

緑地=グリーンインフラ

② 郊外部



③ 農山漁村部

① 都市部

① 都市部

高密度かつ複合的な都市的土地利用が主となる都市部においては、緑や水辺の創出を・活用を通じて、気候変動への適応、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり、生物多様性の保全などの社会課題に複合的に応えていくことが考えられます。

公園・緑地

クールスポットとなる公園・緑地の創出
雨庭の設置
生物生息・生育環境(ビオトープ等)の創出
住民等との協働による維持管理・活用

市街地	公園・緑地
河川	港湾

官民連携による公園・広場空間・水辺空間の創出・維持管理・活用

港湾

生物多様性護岸の設置

港湾

干潟・藻場の再生



市街地 開発地の緑化 雨庭の設置 生物生息・生育環境(ビオトープ等)の創出
屋上緑化・壁面緑化 屋上緑化貯留

公園・緑地

斜面緑地・崖線緑地の保全

市街地	公園・緑地	道路
-----	-------	----

樹木による緑化
街路樹の育成・管理

雨庭の設置

緑化空間の活用、住民等との協働による維持管理

街路樹・民有地接道部の緑化による連続した緑陰の形成

下水道

暗渠化した水路・せせらぎの再生

河川

ワンドの再生
環境学習

② 郊外部

土地利用の密度が比較的低く、都市的土地利用と自然的土地利用が共存する郊外部では、緑や水辺の保全、管理、再生を通じて、流域治水、生態系ネットワークの構築、交流・コミュニティ形成などにつなげていくことが考えられます。

河川

魚道の設置
砂礫河原の保全・再生
旧流路・河跡湖の保全・再生
川幅(河床幅)の変化の確保
湿地の保全・再生
ワンドの保全・再生
霞堤遊水地の保全
水害防備林の保全
住民等との協働による水辺空間の維持管理・活用
環境学習・環境教育

農地

水田貯留
ため池等の治水利用
有機・減農薬による農作物栽培と生産物のブランド化
農福連携

海岸

防潮林の整備
砂浜の回復・維持
砂浜の柔軟な利用
環境学習・環境教育



公園・緑地

大規模な緑地の保全
里山の保全・管理
環境学習・環境教育

河川

公園・緑地

調節池や遊水地の整備
水辺空間の活用

公園・緑地

公園・緑地の整備
雨庭の設置
生物生息・生育環境の保全・創出
住民等との協働による維持管理・活用

公園・緑地

斜面緑地・崖線緑地の保全

市街地

公園・緑地

雨水の貯留・浸透機能を有する緑地、農地の保全
樹林地、屋敷林、社寺林の保全

市街地

道路

道路緑化 雨庭の設置
住民等との協働による緑の維持管理

市街地

公園・緑地

低未利用地・空閑地を活用した
農園・コミュニティーガーデン・遊び場づくり
オープンガーデン

③ 農山漁村部

自然的土地利用が主となる農山漁村部では、自然環境を適切に保全、管理することで、災害に強い地域づくり、産業の振興につなげていくことが考えられます。



(1) みどりに彩られた都心のメインストリートの風景

緑地空間の形成に際して、緑陰形成につながる樹木の育成、雨水の貯留・浸透機能を有する植栽帯の設置、在来種や食餌・食草植物の活用などに取り組むことが、ヒートアイランド現象の緩和、局地的大雨時の雨水流出抑制、生物多様性の確保につながります。

また、公有地・民有地が一体となって緑豊かな歩行空間や広場を形成するとともに、それらの空間を人々の憩いや学習の場、ワークスペースなどに活用することで、都市に活動する人々のWell-being* の向上につながります。



建築物上の緑化と
雨水の一時貯留

緑化空間を活用
した環境学習

地域生態系に配
慮した在来種や
食餌・食草植物
の植栽

雨庭

緑陰の下の滞留
空間(ベンチ)

雨庭の維持管理
(魅せる管理)

保水性舗装、透水性舗装による雨水浸透、冷却

エコロジカルネット
ワーク* となる連続し
た植栽

植物からの蒸散に
よる冷却効果を活
かしたクールス
ポットの形成

緑陰の下の滞留空
間(オープンカフェ、
ワークスペース)

公有地・民有地のシームレスな歩行空間づくり

* Well-being:肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。

* エコロジカルネットワーク:人と自然の共生を確保していくため、原生的な自然地域等の重要地域を核として、生態的なまとまりを考慮した上で、有機的に繋いだ生態系のネットワーク。ネットワークの形成により、野生生物の生息・生育空間の確保、人と自然とのふれあいの場の提供、地球温暖化防止等多面的な機能が発揮されることが期待される。

(2)公園に溶け込む買い物を楽しめる空間の風景

公園などの公共空間と、商業施設などの民有地を一体として連続的な空間整備を行い、その空間をエリアマネジメント組織など地域のまちづくりに取り組む団体を中心に、官民連携で様々な主体が活用することで、公園の魅力向上、商業施設を含めた地域のにぎわい創出につながります。また、緑化空間、水辺・水景施設を設けることで、暑熱環境の緩和や、水循環の確保、生物多様性の確保などの多様な効果が得られます。



公園・商業空間が一体となったシームレスな空間整備

(3) 豊かな緑と水辺に囲まれた暮らしの風景

住宅地と緑地・水辺が一体となった空間づくりにより、エコロジカルネットワーク、風の道が形成され、生物多様性の確保、局所気候の緩和につながります。また、既存の樹木・樹林や在来種を活用した緑化により、雨水の流出抑制や生物生息環境の創出、景観の向上などの機能が発揮され、自然を身近に感じることができる暮らしの場が生まれます。さらに、緑地空間を維持管理、活用する活動を進めることで、居住者や地域住民・活動団体のコミュニティ形成につながります。



住宅地と緑地・水辺が一体となった空間づくりによるエコロジカルネットワーク・風の道の形成

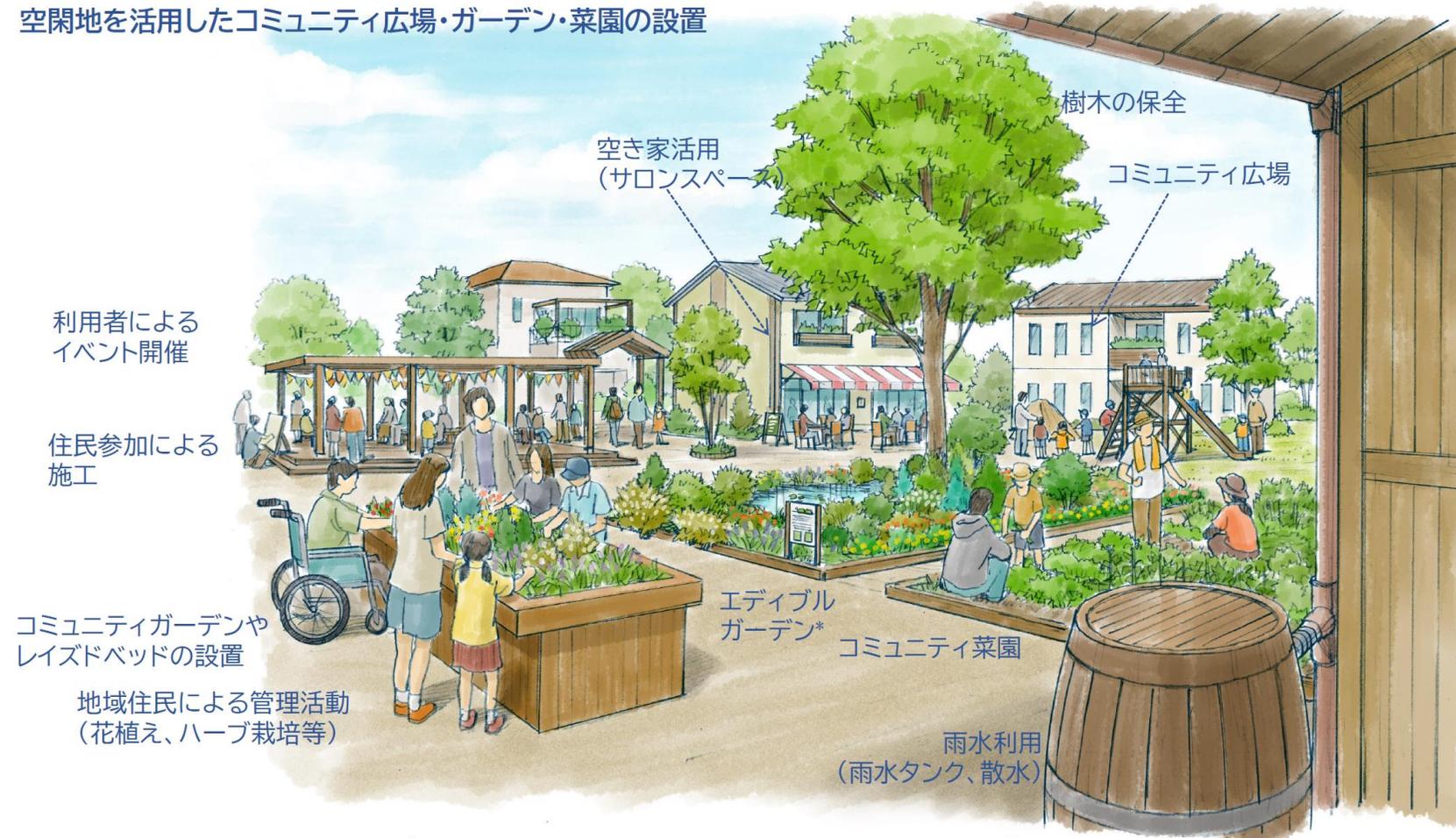
* バイオスウェル：砂利や植栽などによって雨水を浸透させる施設。緑溝。

(4) 身近なみどりを核に住民が交流するまちかどの風景

住宅地などに発生する空閑地に緑を取り入れ、地域住民が中心となってコミュニティ広場、コミュニティガーデン、菜園などに活用することで、住民の憩いや日常的な交流の場が生まれ、Well-beingの向上につながります。

また、空閑地が緑の空間として維持、活用されることで、雨水の貯留・浸透、生物生息環境の創出、景観の向上などの機能が発揮されます。

空閑地を活用したコミュニティ広場・ガーデン・菜園の設置



* エディブルガーデン:野菜、ハーブ、果樹など食べられる植物(=エディブル)を主体に植えられた花壇などのこと。

(5)自然を身近に感じる水辺の風景

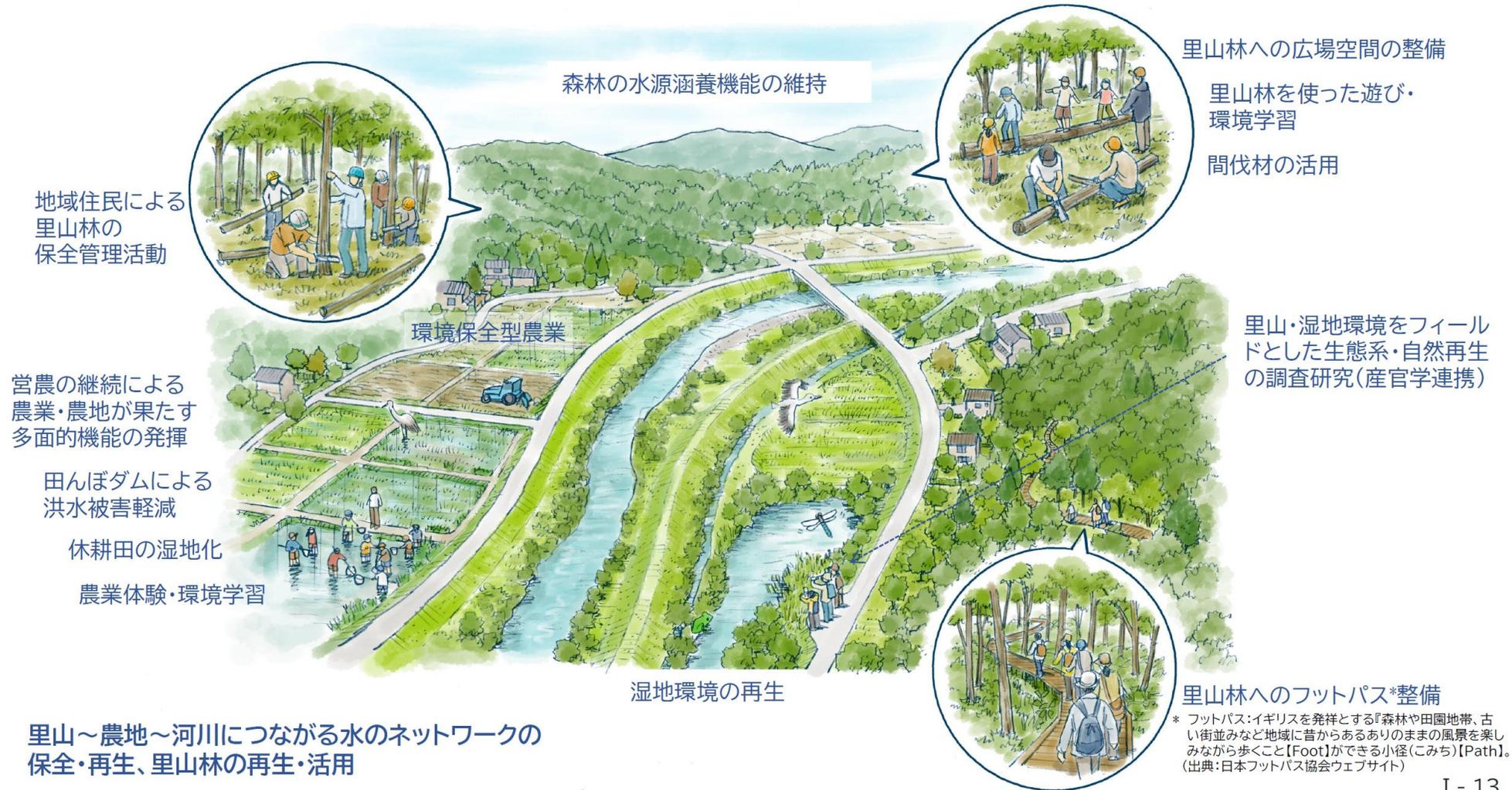
多自然川づくりの考え方を基本に、自然環境が豊かな水辺空間や親水空間の創出を図ることで、生物多様性の向上や潤いある景観の創出が図られます。また、地域住民が計画・施工・維持管理に関わる機会を通じてコミュニティの形成や自然とのふれあい、環境学習などにもつながっていきます。



水辺空間の自然再生

(6) 地域に暮らす人々をつなぐ里山・農の風景

森林、里山の保全と適切な管理、営農の継続による農業・農地が果たす多面的機能の発揮、水田や湿地環境の保全・再生などを小流域の中で連携して進めることで、健全な水循環の確保、治水機能の向上、エコロジカル・ネットワークの形成につながります。また、里山の保全管理、活用を地域住民、地域の企業、保全活動団体、教育機関などが連携して進めることで、自然環境の機能が維持されるとともに、地域への愛着の醸成、自然体験・環境学習などにつながります。



(7)暮らしを守り、地域ににぎわいをつくる海辺の風景

湿地、干潟、藻場を保全・再生することで、多様な生物が生息する環境が形成されるとともに、CO₂を光合成で吸収し炭素を貯留するブルーカーボン生態系の形成につながります。

また、砂浜や防潮林を防災・減災のために活用しつつ、生物の生息・生育、レクリエーションや地域住民の憩いの場としていくことで、地域の活性化につながります。



1. 緑地、環境の価値を評価する方法、仕組み
2. SEGES (シージェス)
3. SEGES認定を受けた民間企業による緑地、環境の活用事例
4. 最近の動き

年	内容
1989	<p>エコマーク(環境省がつくったわが国最初の環境認証制度)</p> <p>⇒ 製品のリサイクル性や、有害物質の含有量、リサイクル材の使用などに関する環境配慮を示した。製品単体の環境負荷が小さいものを差別化するための環境認証。</p>
1992	<p>地球サミット(環境と開発に関する国際会議)@ブラジル・リオデジャネイロ</p> <p>⇒ 「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」への署名開始、「環境と開発に関するリオ宣言」、「アジェンダ21」及び「森林原則声明」の文書が合意。</p>

ISOの環境ラベルに関する規格

タイプⅠ

第三者認証

特徴

第三者認証による環境ラベル

内容

- ・第三者実施機関によって運営
- ・製品・サービスのライフサイクルを考慮した基準策定
- ・事業者の申請に応じて審査して、マーク使用を許可

タイプⅡ

自己宣言

特徴

事業者の自己宣言による環境主張

内容

- ・製品における環境改善を市場に対して主張
- ・製品やサービスの宣伝広告にも適用される
- ・第三者による判断は入らない

タイプⅢ

環境情報表示

特徴

製品の環境負荷の定量的データの表示

内容

- ・合格・不合格の判断はしない
- ・定量的データのみ表示
- ・判断は購買者に任される

2015年9月「国連持続可能な開発サミット」@ニューヨーク国連本部

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」

⇒ アジェンダ：人間、地球及び繁栄のための行動計画。17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標：SDGs (Sustainable Development Goals) が掲げられた。

- グローバルでの持続可能な開発への取り組みを加速することによって創出される新規市場や新たな成長の機会に積極的に参加していく。
- SDGsに取り組むことが、これら機会を逃すリスクにもつながるという認識が広まっている。

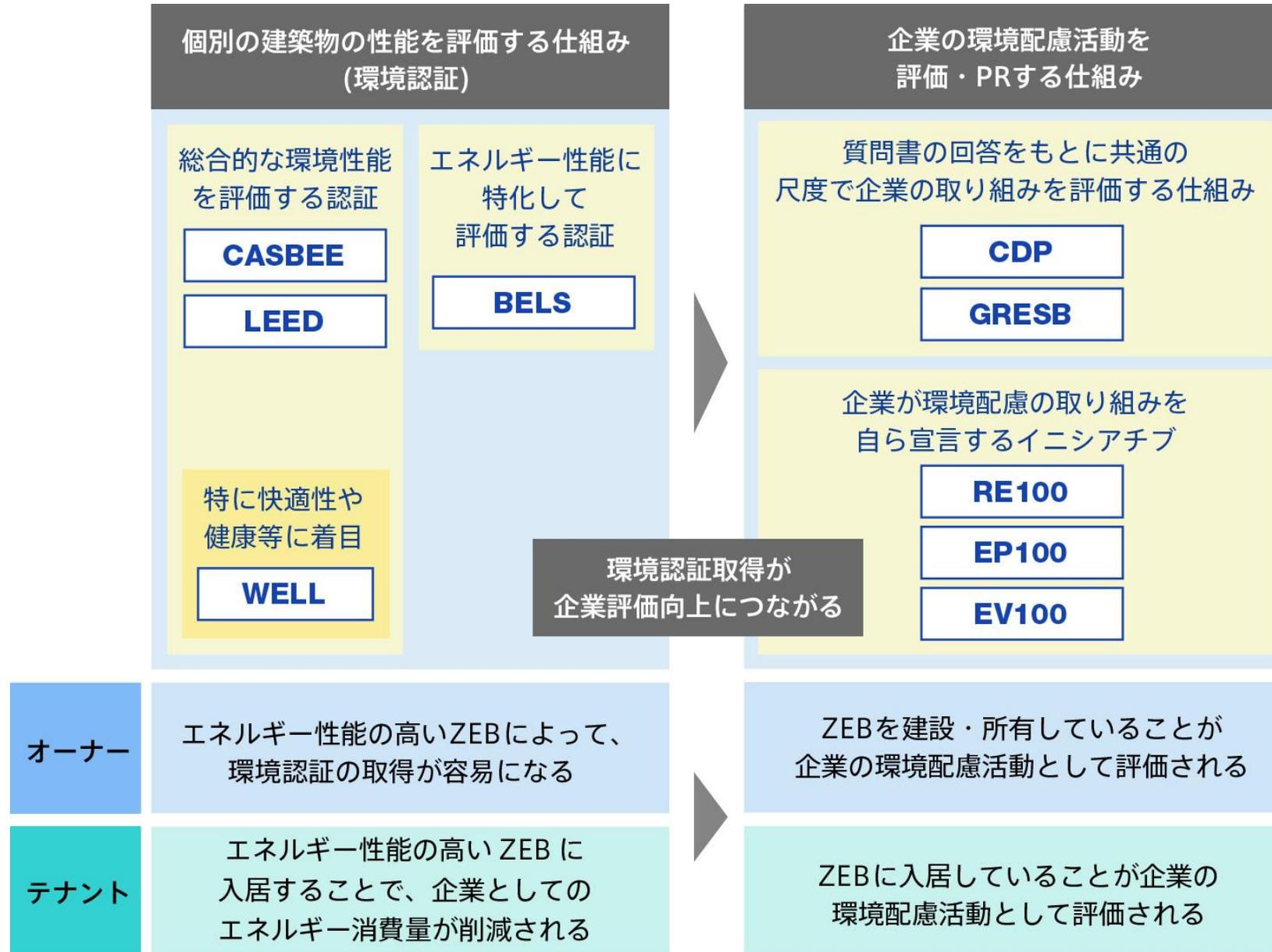
海外が中心だったESG（環境、社会、ガバナンス）投資の考え方が国内でも急速に広まっている。

⇒ ESGに配慮している企業は長期的なリスクが低い企業として機関投資家などから高い投資価値を認められるようになってきている。

環境配慮活動のような非財務情報は利益率等の定量的に評価できる財務情報とは異なり、取り組み内容が多岐にわたり定量的に評価しづらい

建築物の環境認証と企業評価の仕組み

1. 緑地、環境の価値を評価する方法、仕組み



評価対象	日本	アメリカ	イギリス	オーストラリア	シンガポール	
個別の建築物	エネルギー性能	BELS eマーク	ENERGY STAR (建築物評価はアメリカのみ)	EPC (欧州各区にてそれぞれ独自に策定)	Green Star	-
	総合的な環境性能	CASBEE DBJ Green Building 認証	LEED (全世界で使用可能)	BREEAM (全世界で使用可能)	NABERS	BCA GREEN Mark
	+健康・快適性等	CASBEE- ウェルネスオ フィス	WELL	-	-	-
不動産会社・ファンド	GRESB (全世界で使用可能)					
緑地・ランドスケープ	SEGES ABINC JHEP SITES (全世界で使用可能)	SITES (全世界で使用可能)	-	-	-	

	SEGES	ABINC	SITES	JHEP
認証・認定 機関	(公財)都市緑化機構	(一社)いきもの共生 事業推進協議会	USGBC (U.S. Green Building Council) /GBCI (Green Business Certification Inc.)	(公財)日本生態系協 会
概要	企業等の敷地、用地にける緑地の保全、創出、活用等の取組み及び活動について示唆し、ヒートアイランド現象の緩和、景観の向上、生物多様性保全等の環境貢献活動はもとより、環境学習の推進、公開による緑とのふれあい、レクリエーション空間の提供等の社会貢献活動の取組み状況を社会貢献性及び環境貢献性の観点から、総合的に評価し、格付区分する。	JBIB((一社)企業と生物多様性イニシアティブ)が開発した、いきもの共生事業所®推進ガイドラインの考え方に沿って計画・管理され、かつ土地利用通信簿で基準点以上を満たし、当審査過程において認証する。	USGBCが制度設計をし、GBCIが審査する評価認証プログラム。ランドスケープに特化しており、アメリカ以外でも適用が可能。これまで、過小評価されがちであった土壌、植物、水、ハードスケープの総体としてのランドスケープのもたらす便器を捉え直し、正しく価値化(マネタイズ)しようとする仕組み。	生物多様性の保全への貢献度を、客観的・定量的に評価、認証し、可視化できる国内唯一の認証制度。不動産開発から事業所の維持管理、森林整備やビオトープづくりまで、幅広い分野の取組みについて、新規物件、既存物件を問わず、施工から竣工に至るいずれかの段階でも対応可能であり、評価結果も容易に比較することができる。
部門/ シリーズ/ 評価対象	そだてる緑/つくる緑/都市の オアシス	工場版/都市・SC(ショッピング センター)版/集合住宅版/戸建 住宅団地版/物流施設版 /ABINC ADVANCE(アドバン ス)版(街区レベルの大規模施設を 評価)	公共公園、公開空地、商業地 や住宅地などにデザインされ た都市のオープンスペース、民 有地緑化、屋上庭園、ストリー ト・スケープ(街路のデザイン)、 大学キャンパス、美術館や病 院に併設された緑化空間	JHEP(ハビタット評価認証) /CHEP(請負工事型ハビタッ ト評価認証)

SEGES(シージェス)

企業等の敷地、用地における緑地(以下、「企業等緑地」)の保全、創出、活用等に関する企業の積極的な取組姿勢及び行動について、第三者機関により公正に評価、認定し、広く公表することにより、①企業緑地等に関する活動意欲及び取組みの一層の促進を図る。②広く社会に普及啓発し、質の高い良好な緑地の形成の促進を図る。③SDGsの達成目標への取組みを推進し、もって緑豊かな安全で快適な都市の実現に寄与することを目的とする。

そだてる緑



つくる緑



都市のオアシス



そだてる緑(2024年1月現在、37ヶ所)

企業等によって創出された良好な緑地、日頃の管理活動及び取組みを評価し、社会・環境に貢献し、良好に維持されている緑地であることを認定する部門。



SEGES シージェス

そだてる緑

社会・環境
貢献緑地

民間の事業者が所有する緑地(300㎡以上)の優良な保全、創出活動を認定する制度です。緑地の優れた点や取組みを評価、認定し、その価値を顕在化、言語化することができる制度です。認定された緑地に対しては定期的に審査が行われ、緑地管理改善のヒントを得ることができます。同時に、緑地管理者の知識、緑地管理のモチベーションアップにつながっています。

そだてる緑 認定サイト一覧 そだてる緑 募集について ▶▶▶

 <p>2023 SEGES</p>	 <p>[更新] ■富士通株式会社 沼津工場(静岡県 沼津市) 2006~</p>	 <p>2022 SEGES</p>	 <p>■三井住友海上火災保険株式会社 駿河台緑地とECOM駿河台(東京都 千代田区) 2005~</p>
 <p>2022 SEGES</p>	 <p>■トヨタ自動車株式会社 トヨタの森(愛知県 豊田市) 2005~</p>	 <p>2022 SEGES</p>	 <p>■ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト(愛知県 額田郡) 2005~</p>

社会・環境貢献緑地
評価システム

SEGES

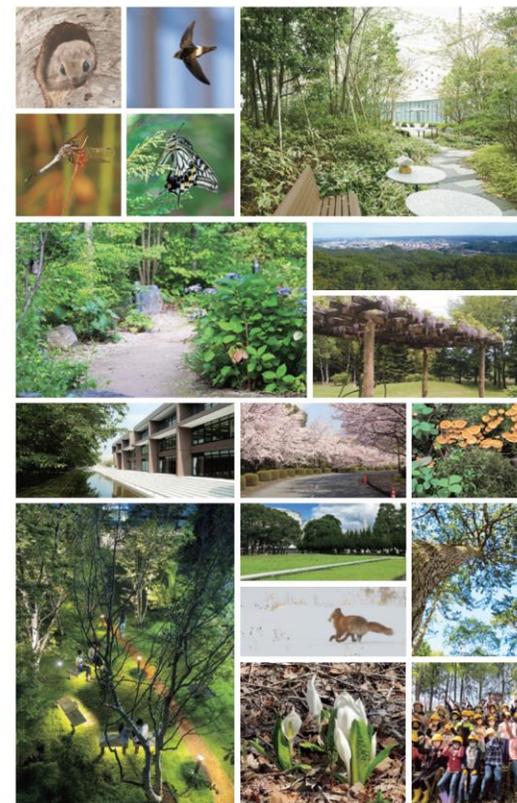
シージェス

「そだてる緑」

No.10



Social and
Environmental
Green
Evaluation
System



公益財団法人 都市緑化機構
Organization for Landscape and Urban Green Infrastructure

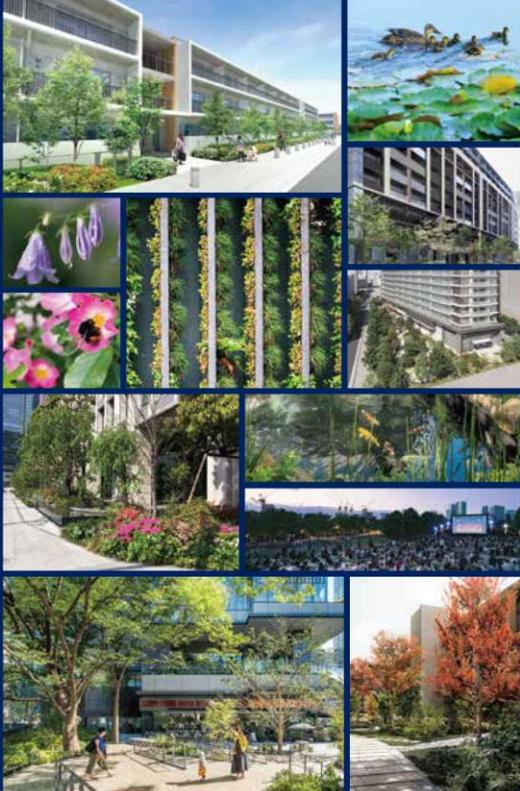
つくる緑(2024年1月現在、24ヶ所)

不動産開発事業における事業者の社会や環境への貢献を目的とした緑地の保全や創出に関わる取組みやCSRの取組みについて、評価し、優れた計画・事業であることを認定する部門。

社会・環境貢献緑地
評価システム

SEGES
シージェス

「つくる緑」 No. 4



公益財団法人 都市緑化機構
Organization for Landscape and Urban Green Infrastructure



SEGES シージェス

つくる緑

社会・環境
貢献緑地

開発、建築に伴う優良な緑地環境計画を認定する制度です。近年では開発において付属する良好な環境施設の市場的価値の高まりにあわせ、既存緑地を保全・活用するなどレベルの高い緑地計画がなされる例が増えています。そのような質の高い緑地計画を認定・表彰することで、緑による資産価値向上につなげています。

つくる緑 認定サイト一覧

つくる緑 募集について▶▶▶



[新規] ■ 朝日生命 国立社宅建替え及び有料老人ホーム新築工事 (あさひの杜国立) (東京都 国立市) ■ 朝日生命 保険相互会社



[新規] ■ (仮称) 文京区小石川4丁目計画 (リビオシティ文京小石川) (東京都 文京区) ■ 日鉄興和不動産株式会社

都市のオアシス(2024年1月現在、47ヶ所)

企業等によって創出された緑地について、都市のアメニティに特化した緑地機能を発揮し、生き物とのふれあい、市民の憩いの場等として、安心・安全を確保しながら公開される質の高い緑地空間であることを認定する部門。



社会・環境
貢献緑地

SEGES シージェス

都市のオアシス

快適で安全な都市緑地を提供する取り組みを認定する制度で、都市のアメニティに特化した緑地機能を評価する部門です。緑化面積の要件は設定せず、きれいな草花や景色、木陰、広々とした芝生、せせらぎやひだまりなど、みどりの恵みを五感で感じられる空間を重視し、都市の中で憩いの場となる質の高い緑地空間を認定しています。

都市のオアシス 認定サイト一覧

[都市のオアシス 募集について](#)



2023
SEGES



[新規] ■ フレスポ御所野 ハチ
ロウトープ (秋田県 秋田市)
■ 大和リース株式会社 秋田支
店
2023~



2023
SEGES



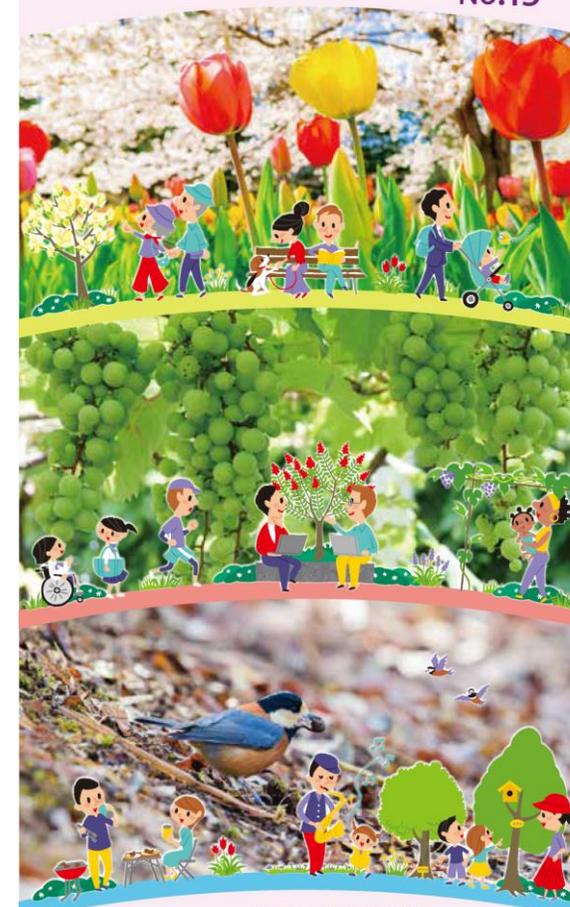
[更新] ■ なんばパークス パー
クスガーデン (大阪府 大阪
市) ■ 南海電気鉄道株式会
社、株式会社高島屋
2014~

都市の オアシス さんぽ Garden Map



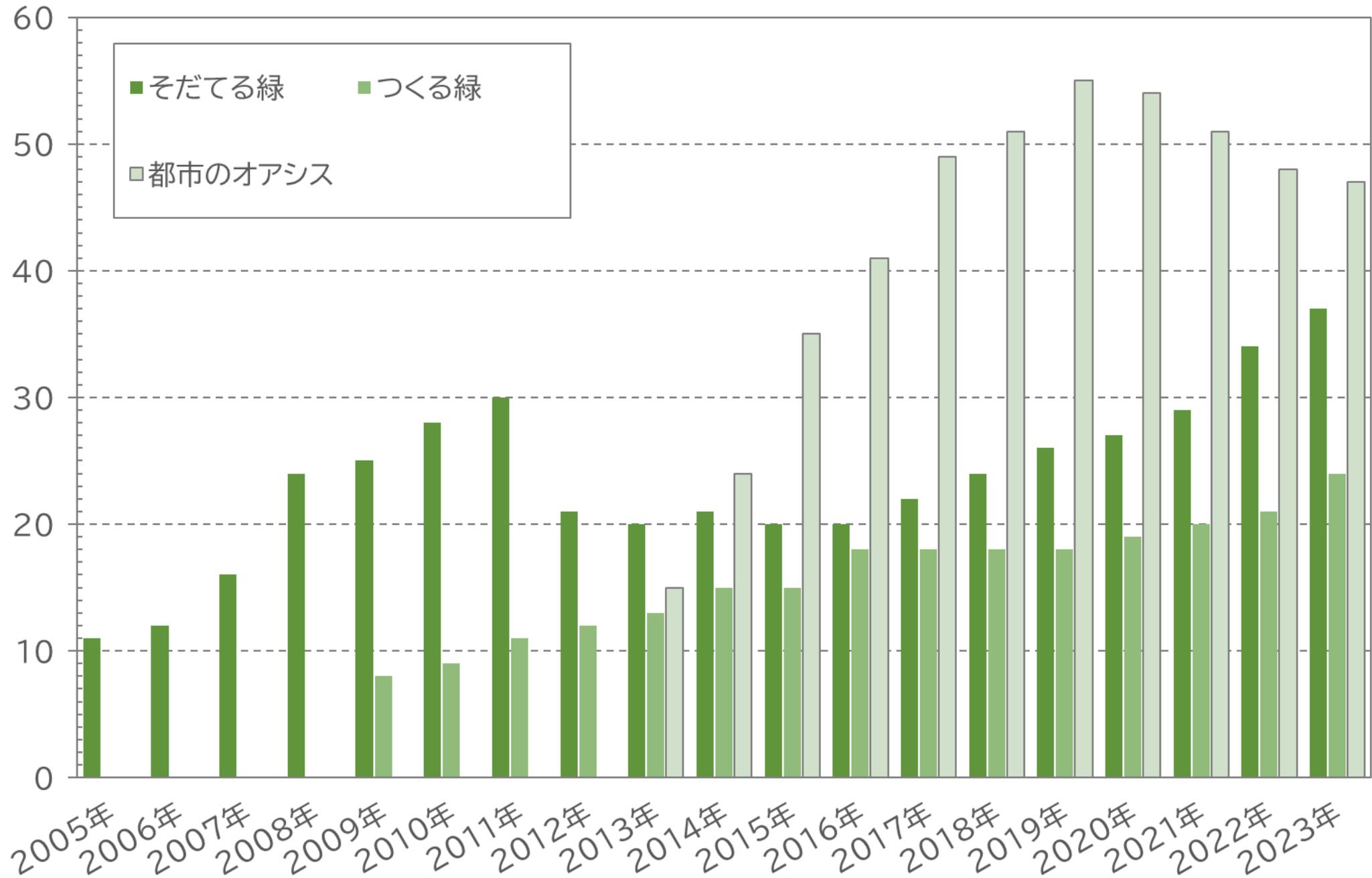
2023
SEGES

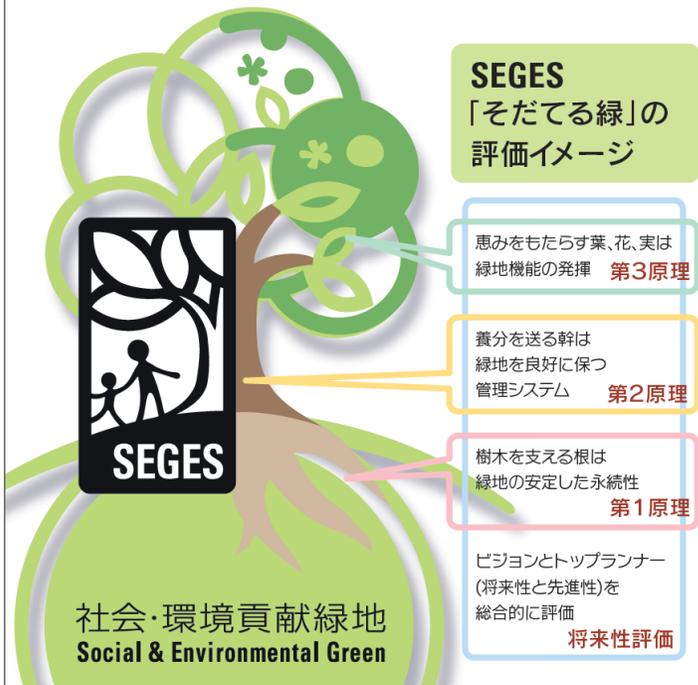
No.15



公益財団法人 都市緑化機構

部門	意義
シ ス 都 市 の オ ア そ だ て る 緑	<ul style="list-style-type: none"> ① 緑地の機能及び取組みの効果を顕在化し、広く伝えることができる。 ② 緑地及び取組みの優れた点、改善点を相対的に評価できる。 ③ 緑地管理への合理的な投資及び持続的な管理が可能となる。 ④ 機構が実施する広報活動等を通じて、ステークホルダーの信頼、共感及び期待感を向上させる手段となる。 ⑤ SDGsの達成に向けて、企業等の個別目標に対する取組み状況を把握し、説明できる。
つ く る 緑	<ul style="list-style-type: none"> ① 不動産事業における緑に関する環境配慮を多角的に評価できる。 ② 事業のコンセプト、計画内容等を公表することにより、事業者の考え方及び姿勢についての社会的な認知を図ることができる。 ③ 計画時のみならず施工段階及び工事完了後においても、環境への配慮が行われるかを明確にすることができる。 ④ 規制的手法ではなく、誘導的手法により事業者の自主的な緑に関する取組みを尊重できる。 ⑤ SDGsの達成に向けて、企業等の個別目標に対する取組み状況を把握し、説明できる。





第1原理
土地利用の持続性
緑がそこにあること、
あり続けることの確かさ

第1原則：緑地の把握
第2原則：土地利用上の緑地の安定性
第3原則：緑地に関する法令等の遵守

第2原理
緑地管理
緑がつけられるプロセス
まもり育てられるプロセス

第4原則：緑地管理システムの確立
第5原則：緑地による
外部とのコミュニケーション

第3原理
緑地機能の発揮
緑が社会・環境に
どのように貢献しているか

第6原則：存在機能の発揮
第7原則：連繋機能の発揮
第8原則：利用機能の発揮

**将来性
評価**

ビジョン
社会・環境に貢献する緑地のありかた
に関する考え方や姿勢を評価

トップランナー
緑ゆたかな社会づくりを
牽引する取り組みの先進性、
独自性を総合的に評価

原理	原則	基準
I. 土地利用 の持続性	第1原則：緑地の把握	第1基準：対象である緑地の把握
	第2原則：土地利用上の緑地の安定性	第1基準：土地利用の安定性 第2基準：緑地の担保性の実績
	第3原則：緑地に対する法令等の遵守	第1基準：関連法令等の遵守
II. 緑地管理	第4原則：緑地管理システムの確立	第1基準：緑地管理担当者の明確化 第2基準：緑地管理目標・計画の設定 第3基準：モニタリング計画の設定 第4基準：緑地管理システムの見直し 第5基準：環境マネジメントシステムへの 統合 第6基準：管理作業上の環境負荷削減
	第5原則：緑地による外部とのコミュニ ケーション	第1基準：緑地情報の開示 第2基準：緑地の開放 第3基準：地域の緑地保全活動への支援 第4基準：リスク管理 第5基準：専門家の活用 第6基準：緑地管理システムの企業緑地外 への普及
III. 緑地機能 の発揮	第6原則：存在機能の発揮	第1基準：緩衝機能 第2基準：気象緩和機能 第3基準：地下水涵養機能 第4基準：CO2固定機能
	第7原則：連繋機能の発揮	第1基準：景観形成機能 第2基準：地域生態系機能 第3基準：地域防災機能
	第8原則：利用機能の発揮	第1基準：レクリエーション機能 第2基準：環境学習機能

SEGES「そだてる緑」

評価が緑地の価値を顕在化する具体例

第1原理 ではこのようなポイント进行评估します

第2原則 土地利用上の緑地の安定性
 第2基準 緑地の担保性の実績
 工場ができる前はこのあたりは茶畑であった。その畑の一部を残し、地域住民は茶摘体験をすることで、地域文化を継承している。



第2原理 ではこのようなポイント进行评估します

第4原則 緑地管理システムの確立
 第4基準 緑地管理システムの見直し
 緑地において専門のNPOやボランティアとの交流や、地域の子供たちのための環境教育のイベントを開催している。



第3原理 ではこのようなポイント进行评估します

第7原則 連携機能の発揮
 第2基準 地域生態系機能
 緑地の管理とモニタリングの実施により、地域の生物多様性の保全に貢献している。



将来性評価 インタビュー

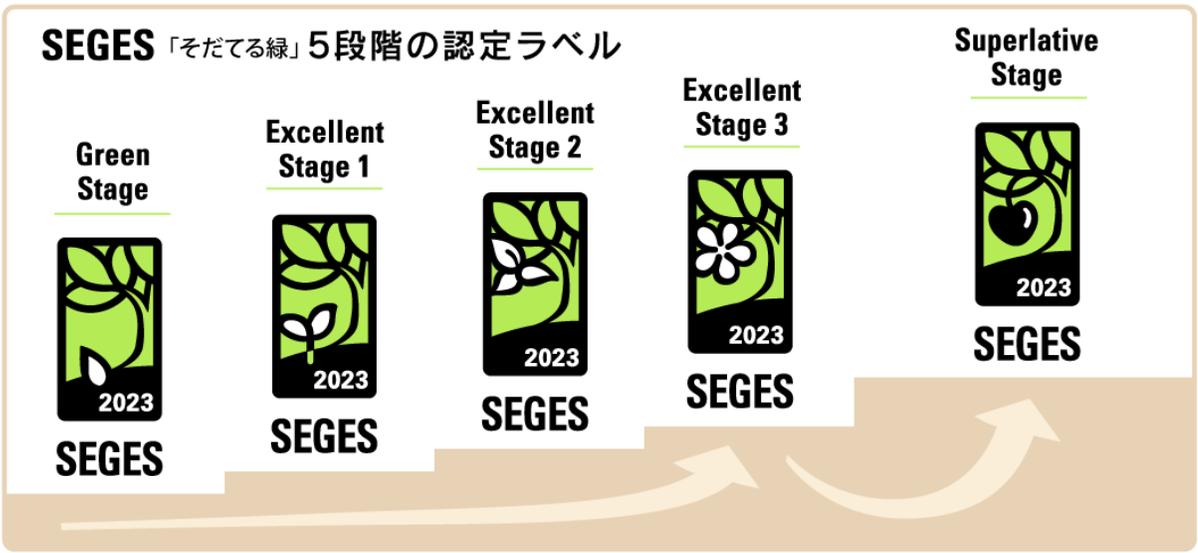
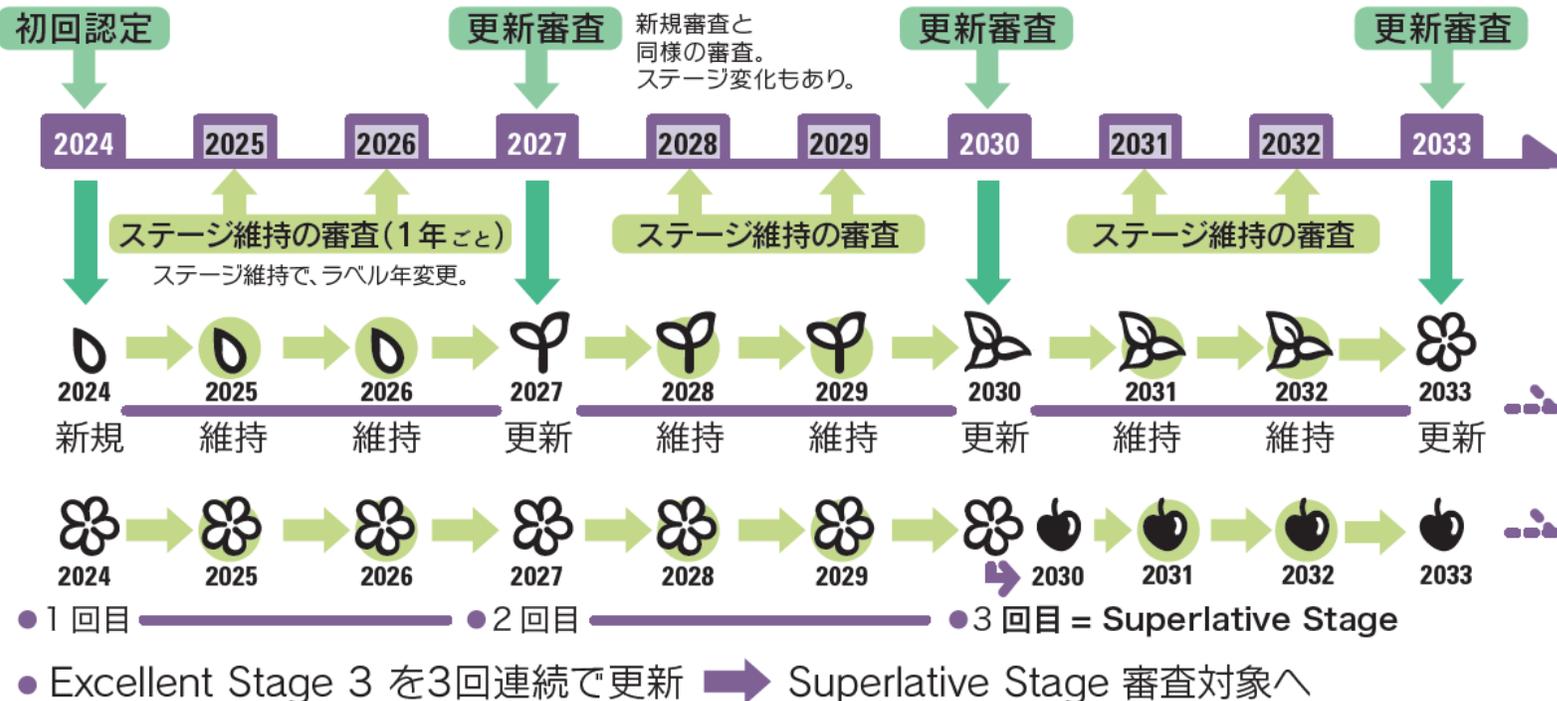
緑の専門家であるSEGES審査員が、下記の内容をヒアリングします。ビジョン、トップランナー評価に反映されます。

- ◎ 緑地を保有し、管理・運営している目的と将来のビジョン
- ◎ 「みどり」による社会や地域への貢献としての取り組み
- ◎ 緑地管理の責任部署や責任者が明確になっているか
- ◎ 緑地に対する認識、「みどり」の価値や評価について

認定を
 継続
 する
 仕組み

例1)

例2)



原理	原則	項目
I. 土地と地域の潜在的価値の尊重 (対象地の自然性と歴史・文化性を尊重、計画に反映しているかを審査)	第1原則:土地と地域の潜在的価値の把握(構想段階相当:事業目的)	第1項:敷地の潜在的価値の把握 第2項:周辺地域の潜在的価値の把握
	第2原則:土地と地域の潜在的価値の保全と利用(計画段階相当:事業目標)	第1項:敷地の潜在的価値の保全と利用 第2項:周辺地域の潜在的価値の保全と利用
	第3原則:緑地に関するコンプライアンス	第1項:緑地に関する法令等への積極的な対応
II. 緑地マネジメント(事業者が、開発事業完了まで、更に完了後まで、良好な緑地環境を担保できるような仕組みを確立しているか)	第4原則:緑地整備マネジメントシステムの確立(実行計画段階:事業プロセス)	第1項:緑地整備責任者の明確化 第2項:緑地整備計画の作成
	第5原則:緑地管理マネジメントシステムの確立	第1項:緑地マネジメントシステムの作成 第2項:緑地マネジメントシステムの引渡し
	第6原則:緑地に関するコミュニケーションの実施	第1項:ステークホルダーとのコミュニケーションの実施
III. 緑地機能の発揮 (緑地でどれだけの環境貢献機能を発揮させようとしているか)	第7原則:存在機能の発揮	第1項:気象緩和機能 第2項:水循環機能
	第8原則:連繋機能の発揮	第1項:景観形成機能 第2項:地域生態系機能 第3項:風環境調整機能
	第9原則:利用機能の発揮	第1項:動線機能 第2項:レクリエーション機能

基準	審査項目	
公開性	1	緑地の使用权、所有権、運用期間
	2	緑地の開放状況、開放時間
	3	緑地の公開に関する情報発信
	4	入居するテナントやオフィスへの情報提供
	5	利用促進のためのユニバーサルデザイン
	6	利用状況を反映した緑地運営の改善
	7	芝生広場等の開放感のある園地の確保
	8	地域の文化振興につながる、持続可能な賑いづくり、観光の創出
安全性	9	安全、安心の配慮、提供
	10	緑地管理の担当部署、管理計画者の明確化
	11	緑地管理の目標、計画、体制の明確化
	12	緑地管理、イベント、季節の記録作成、保存
	13	休憩施設、遊具、柵等のメンテナンス
	14	緊急時、事故に対する安全体制
	15	緑地スタッフに持続可能なライフスタイルの教育、研修
	16	PDC Aサイクルによる緑地管理の実施
環境への配慮	17	テーマ性を意識した景観の形成
	18	緑の量的な確保による緑陰等の形成
	19	自然と調和したライフスタイル情報の提供
	20	外来種の侵入防止、対策
	21	周辺地域と連携した生物多様性の保全
	22	雨水の有効活用
	23	専門家の意見・アドバイスの活用
	24	廃棄物の発生削減、再利用の取組み



**富士通株式会社
沼津工場**

◇静岡県沼津市宮本140番地
2018年に「緑の殿堂」と認定



Superlative Stage

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞
庭園・ビオトープ・自然林の豊かな緑地

換業時から継続して約42haの広大な緑地を維持管理し、緑地の保全と活用に取り組んでいます。近年ではSDGsの観点での環境教育や生物多様性への取り組みにも力を注いでいます。緑地エリアは一般開放しており、季節ごとに実施する健康ウォーキングなどのイベントにも活用し、春には200m続く桜並木のトンネルや茶畑の新茶の香り、夏はビオトープのせせらぎ、秋には数多くの昆虫の鳴き声や彩とりどりの紅葉など、普段より従業員や地域の方々に豊かな自然を「五感」で堪能していただいています。令和5年には、約半世紀にわたる緑地の維持管理や地域貢献の取り組み、生物多様性の保全などが評価され「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞することができました。これからも緑地や生物多様性の保全に取り組み、環境に貢献するとともに、地域に憩いの場を提供していきます。

評価主眼 ほぼ半世紀、時代の要請を踏まえ、多様な機能を緑地に与える取り組みが積み重ねられており、トップランナーとしての役割を十二分に果たしています。国や地方公共団体の施策に関わる面での貢献を期待します。

- ◆開設
1976年
- ◆敷地面積
534,671m²
- ◆緑地面積
422,390m²



- ④200m続く桜並木
- ⑤新茶の香り漂う茶畑、ビオトープのせせらぎ、内閣総理大臣表彰受賞記念開闢(ソメイヨシノ)



**三井住友海上火災保険株式会社
駿河台緑地とECOM駿河台**

◇東京都千代田区神田駿河台3-9、3-11-1
2017年に「緑の殿堂」と認定



Superlative Stage

都心で生物多様性に配慮した緑化
「鳥の駅」として機能する緑の拠点

駿河台ビルの屋上庭園は、1984年のビル竣工と同時に築造されました。土壌の深さが1メートルを超え、屋上の植栽としては珍しい高・中・低木のある風景が広がります。一角には菜園を設け、近隣住民の方に都心での野菜栽培を楽しんでいただいています。生物多様性に配慮した緑地には多くの生きものがやってきます。駿河台ビルには都心ではとても珍しいヒメアマツバメが営巣し、一年中その姿を観察することができます。月に一度のバードウォッチングには、近隣在住・在勤の方が参加するなど、都心で緑と生きものに触れられる緑地です。

また、新館隣のECOM駿河台では、自然や環境に関する情報を発信するなど、地域の交流拠点としての役割を担っています。

評価主眼 屋上庭園、地域の交流拠点ECOMにて「ひとと生きものにやさしい緑地」を実践しています。緑地の多面的機能を意識し、社会や環境の変化に対応した先導的で機動的な運営管理を高く評価しました。

- ◆竣工
1984年
- ◆敷地面積
17,387m²
- ◆緑地面積
7,090m²



- ④駿河台ビルに営巣し、上空を旋回するヒメアマツバメ
- ⑤屋上の菜園で野菜づくりを楽しむ人々



**トヨタ自動車株式会社
トヨタの森**

◇愛知県豊田市岩倉町一本松1-1
2017年に「緑の殿堂」と認定



Superlative Stage

都市近郊の社有林を活用した
里山型環境学習フィールド

「自然との共生」を実践するフィールドとして、トヨタ自動車(株)本社からほど近い社有林を、かつての里山をモデルとして整備するとともに、環境学習を実施しています。

東京ドーム9個分の広大な敷地のトヨタの森は、多種多様な動植物の格好の住処。慌ただしい街の喧騒をよそに、ここでは生命がそれぞれのリズムで成長する、ゆっくりとした時間が流れています。

地域に開かれた環境学習フィールドとして、近隣の小学校を中心に多くの児童を受け入れているほか、障がいのある方も参加できるプログラムも企画、実施しており、里山の役割や魅力について楽しく学ぶ機会を提供しています。自然の恵みを感じ、学び、持続可能な社会の実現に貢献する、企業が届ける里山モデルです。

評価主眼 長年にわたる緑地に対する真摯な取り組みを高く評価しました。膨大なデータや経験の蓄積に基づいたウィズコロナ時代における取り組みは、先進的な社会貢献活動であり、先導的役割に期待します。

- ◆一般公開
1997年
- ◆対象面積
約45万m²



- ④紅葉に染まり始めるトヨタの森
- ⑤里山の身近な生きもの、ムササビが棲む森



**ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社
幸田サイト**

◇愛知県額田郡幸田町大字坂崎字雀ヶ入1番地
2017年に「緑の殿堂」と認定



Superlative Stage

地域連携で自然環境を保全し続ける
「緑豊かな公園工場」と「ソニーの森」

1972年の創立時より「緑豊かな公園工場づくり」を目標に、四季を感じる緑と工場の調和を考えた緑地の整備を行ない、緑地管理の一部を社会福祉施設に依頼しています。また、隣接する森を「ソニーの森」と名づけ、遊歩道の整備、アスレチックや展望台を設置して、子どもたちに環境学習の場として活用されています。

ソニーの森では、「フクロウの棲む森づくり」、「在来種の苗木を育てる活動」を行っており、地元企業と協働し、地域の自然再生活動にも取り組んでいます。この取り組みは、2015年に「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。緑地の整備活動を通じて、社員の環境意識が向上し、幸田サイト全体の環境活動の促進にもつながっています。

評価主眼 「緑豊かな公園工場」を堅持し、ステークホルダーとの協働を地道に継続、発展させています。緑地の開放、緑地保全、広域の生態系保全活動等、より幅広い社会環境貢献の取り組みを評価します。

- ◆設立
1972年
- ◆敷地面積
169,433m²
- ◆緑地面積
75,060m²



- ④地元の小学生が環境学習で育った
- ⑤左：あいちごや生物多様性バスタークスに選定された賞状。右：ソニーの森で生まれたフクロウ



**ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
大分テクノロジーセンター 国東サテライト**

◇大分県国東市国東町小原3319-2

Superlative Stage

2019年に「緑の殿堂」と認定



**完全開放の公園と豊かな森
地域と一体の存在に**

美しい海と森に囲まれた当サイトは敷地面積の3分の1以上を雑木林が占め、樹齢100年を超える樹木が点在しています。その中には遊歩道も設けられ、社員がいつでも散策できます。緑地の一部は、「ソニーの潮の香公園」として地域の方々に完全開放しており、車いすのまま利用できるテーブルや多目的トイレを完備し、散歩コースや小学生の遠足などで親しまれています。また、橋内動植物の調査により絶滅危惧種であるフクロウやキンラン・ギンランを確認し、緑化活動の推進によりアサギマダラも見られるようになりました。

工場周辺海岸の清掃活動も長年継続しており、30年以上途絶えていたアカウミガメの産卵・孵化が確認されています。今では地域と企業が一体となってアカウミガメの生息地保全に取り組んでいます。

**採
取
主
眼** 生物多様性に配慮した緑化、活動の場をサイト外に展開する等、組織として環境活動を支え、継続する仕組みができています。今後も地域社会の抱える問題解決に積極的に取り組むことを期待します。

- ◆設立 1984年
- ◆敷地面積 約 87,000m²
- ◆緑地面積 23,659m²



- ④地域を巻き込んでの海岸清掃
- ⑤ソニーの潮の香公園に遠足で訪れた園児たちと、敷地内で見られるキンラン・ギンラン



**サンデン株式会社
サンデンフォレスト**

◇群馬県前橋市相川町中之沢7番地

Superlative Stage

2020年に「緑の殿堂」と認定



**「工場と里山の共存」生態系の復元から
多様な生き物の繚乱へ**

設立当初から、この地にある里山づくりを目指し、元々存在した樹種を選んで植林し、沢筋や付替え水路、ピオトープには、水生植物や生物が自然に生存できる環境をつくっています。緑地には全長4kmの散策道、希少植物の保護地域、環境学習向けのフィールド、森の教室などを設け、学校の校外学習や市民団体の活動に広く活用されています。造成前の1998年から現在まで、定期的なモニタリング調査を実施し、絶滅危惧種保全、外来種駆除、2次林育成など、生物多様性の維持・向上を目的とした森林緑地の管理を21年間継続しています。活用の場としては、2014年に前橋市より「環境教育等における体験機会の場」に認定され、専門スタッフ（指導者）・プログラム・活動フィールド（場）を一年を通じ提供しています。年間8000名ほどの方が、様々な活動を通じ、サンデンフォレストを訪れています。

**採
取
主
眼** 「環境と産業の矛盾なき共生」を実践した里山再生の手法により、緑地機能を十分発揮しています。環境分野の強力なコンテンツとして、更なる新たな里山のニーズに対応した取り組みを期待しています。

- ◆稼働 2002年
- ◆敷地面積 696,000m²
- ◆緑地面積 375,500m²



- ④近自然工法による造成直後(2002年)の様子
- ⑤整備と収穫を兼ねた、荀竹林づくりプログラムの参加メンバーたち



**花王株式会社
和歌山工場**

◇和歌山県和歌山市湊 1334番地

Superlative Stage

2023年に「緑の殿堂」と認定



**江戸時代からの松林をまもり続けて
工場外にも「企業の森」を展開**

江戸時代に防潮林として植えられた松林が、今なお工場のなかに広く大きく息づいており、これを地域の文化財として大切に保全し続けてきたことが、このサイトの特徴です。サイト内の松林などの緑地には、多くの野鳥が飛来しているほか、ハルゼミや海浜特有の準絶滅危惧種に指定されている昆虫種が確認されています。

こうした歴史的景観を維持し特有の生態系を守ってきたことが評価され、2023年環境省より自然共生サイトに認定されました。

また、当工場は2007年に和歌山県の「企業の森」事業にも参画し、10年以上にわたり、みさと天文台近くと生石高原近くの2ヶ所の山林を借り受け、保全活動を行なっています。

**採
取
主
眼** 地域の文化財となる防潮林を水く維持保全し、環境学習に活用しています。従来から高評価を得た活動と循環型の維持管理、今日的な社会情勢を踏まえた緑化活動等、意欲的に取り組む姿勢を高く評価します。

- ◆設立 1944年
- ◆敷地面積 530,686m²
- ◆緑地面積 114,398m²
- ◆うち防潮林 78,342m²



- ④松林にある歴史あるクローマツ
- ⑤「企業の森」で自生種を植樹



**株式会社西武リアルティソリューションズ
「飯能・西武の森」**

◇埼玉県飯能市大字飯能字鶴ノ首1130

Superlative Stage

2023年に「緑の殿堂」と認定



**誰からも愛される安全で安心な里山に
そして子どもたちの未来のためにも**

奥武蔵自然公園内の天覧山・多峰山周辺の丘陵地は、当社が1967年から開発を目的として土地の取得をしてきました。社会情勢の変化に鑑み、所有する山林の時代に即した新たな活用を検討し、2008年に「飯能・西武の森」と名付け、生物多様性に配慮した森づくりを始めました。総面積約130haの山林は、市街地に隣接する里山で、標高180m前後の丘陵地にはクヌギ・コナラ群集とスギ・ヒノキ植林の豊かな自然環境を有しています。森づくりに先立ち当社は1997年、飯能市の環境保全条例に基づき32haが「景観緑地」の指定を受け、その後順次拡張し2013年には計86haに及んでいます。この「飯能・西武の森」では、行政、NPO、市民が森林整備や保全作業に協働で取り組んでおり、今では、森林浴、遠足、ハイキング、生物調査等に年間を通して多くの方が訪れるようになりました。

**採
取
主
眼** 地域との定期的な対話と谷津田再生等を通じた協働の森づくりを継続し、模範的な里山管理として発展してきたことを高く評価します。蓄積してきた知見・情報を開示し、より一層の社会貢献を期待します。

- ◆開設 2008年
- ◆敷地面積 772,202m²
- ◆緑地面積 772,202m²



- ④安全・安心な森だから、多くの方が訪れます
- ⑤地元小学校の総合学習に活用されています



学校法人立正大学学園
立正大学 熊谷キャンパス

◇埼玉県熊谷市万吉1700

Superlative Stage
2023年に「緑の殿堂」と認定

「自然との共生」広大な敷地を活かし
緑豊かなキャンパス空間を創造

1967年の開設当初から「緑のキャンパス」と「自然との共生」をコンセプトに掲げ、緑豊かで地域に開かれたキャンパスづくりを目標としてきました。キャンパス内の緑地や広場では、アカマツ・コナラ・クヌギ・エゴノキ等の既存樹を積極的に保全し、雑木林の緑でキャンパスの「地」を形成しつつ、花木や高木を修景的に植栽することで、固有の風景を作り出しています。また、多彩な緑だけではなく、キャンパス中央を横断する水路には様々な生物が生息しているほか、雑木林にはキジやコジュケイなどが棲み、水辺にはカモやサギなどが飛来するなど、豊かな生態系を構築しています。地域の森に囲まれ、また同時に地域の森を内包するキャンパスをリビング・ラボラトリーとしてとらえ、地球環境科学部での研究や地域連携・地域貢献活動に活かしています。

【評価ポイント】 マスタープラン、植栽管理基準を適宜見直し、柔軟な管理を永きにわたり継続しています。地域の緑化推進、本業を活かした緑地での「こども大学」等の地域貢献を模範的な取り組みと高く評価します。

- ◆開設 1967年
- ◆敷地面積 351,201m²
- ◆緑地面積 121,320m²



①学生が憩う桜並木
②緑豊かなキャンパス



出光興産株式会社
愛知事業所

◇愛知県知多市南浜町11番地

Superlative Stage
2023年に「緑の殿堂」と認定

創業当時から基本姿勢
豊かな「公園工場」を未来へつなぐ

伊勢湾を望む愛知事業所の緑地は、幅100m長さ2kmにわたるグリーンベルトが中心となっています。45万本におよぶ植栽が施され、隣接する企業の緑地へと繋がって、緑豊かな地域景観の形成にも寄与しています。多くの小動物や鳥類の生息も確認されており、知多市の生態系ネットワークを構築するうえでも、重要な緑地です。

出光では「公園工場」という目標をいち早く掲げ、緑化に取り組んできた歴史があります。その先進性は将来的な緑地整備計画の策定にも反映され、生物多様性の質的向上と希少生物の保護を推進しています。

グリーンベルト内には散策路が整備され、ピオトープも設置されています。今後も生態系保全と地域コミュニケーション活動の両立を図っていく予定です。

【評価ポイント】 緩衝緑地の役割を地域の社会や自然環境をつなぐ役割に転換し、地域・関係者との連携・協働の実現、信頼関係を構築しました。ネイチャーがジティブの時代に適合した取り組みであると高く評価します。

- ◆操業 1975年
- ◆敷地面積 2,070,025m²
- ◆緑地面積 320,324m²



①境内で生息が確認されたキツネ
②境内で開催された自然観察会



出光興産株式会社
北海道製油所

◇北海道苫小牧市奥砂町25-1

Superlative Stage
2023年に「緑の殿堂」と認定

厳しい自然環境のなかでの緑化
先達の意思とともに次世代に伝える

創業者の出光佐三は、公園のような緑地帯を備え、地元と共に栄える工場の建設を提唱しました。当製油所も建設当時から「北の大地の公園工場」を目指し、厳しい自然環境を克服しながら緑地造成に取り組んできました。これまでに約12,000本の植樹を行ない創出された緑地には、野鳥やキタキツネが生息し、生物多様性の保全に貢献しています。

緑地は地域の皆様との交流の場としてヤエザクラ並木の一般公開、特産果実ハスカップの自生苗育成、親子向け体験型環境学習会等に活用しています。さらに林野庁の「法人の森林」事業に参加し、緑化活動を発展させています。また、緑地管理で発生する刈草と社員食堂の残渣から堆肥を作り土壌に施用する取り組みも行なっています。これからも北海道の工場緑化のリーディングカンパニーとして地域社会に貢献します。

【評価ポイント】 厳しい自然環境の中で、50年近く緑化に取り組み、豊かな緑を創出し継承しています。土壌炭素貯留、ハスカップ自生種保護は、緑地の質を向上する取り組みであり、今後の成果にも期待します。

- ◆操業 1973年
- ◆敷地面積 1,987,980m²
- ◆緑地面積 894,560m²



①境内のピオトープで開催する親子向け環境学習会「トンボの教室」
②じゃがいも畑で社員レクを実施。刈草と食堂残渣から作る堆肥を施用



シチズン時計株式会社
本社東京事業所

◇東京都西東京市田無町6-1-12

Excellent Stage I
2023年 NEW

都市部における豊かな緑地
雑木による木漏れ日のワークプレイス

シチズン時計株式会社の本社がある東京事業所では、工場立地法の緑地率を満たすため、老朽化した工場を撤去し、その跡地を「CITIZENの森」と名付けた約4,000㎡の緑地に変換しました。「屋内でも屋外でも働ける」をコンセプトに、従業員のウェルビーイング向上のための緑陰空間を提供しています。この緑陰空間には、ミーティングのできるレストベンチ、コーヒープレイクのできるスタンドテーブル、軽微なPC作業のできるツールなどによって多彩な居場所が設けられています。敷地が武蔵野台地端部に位置することから、緑地を武蔵野の雑木の樹種で構成し、地域のエコロジカル・ネットワークの一部として鳥や虫の飛来しやすい場づくりを行なっています。また、緑地は従業員の憩いの場のみならず、小学生の遠足コースとしても使われ、自然を通じた地域交流の役割を果たしています。

【評価ポイント】 「従業員にとってのワークプレイス」というコンセプトを有する緑地を評価しました。生物多様性を意識したモニタリングや生産性、健康の増進等に係る根拠の蓄積と工夫を凝らした緑活用を期待します。

- ◆竣工 2019年
- ◆敷地面積 43,385m²
- ◆緑地面積 11,629m²



①四季折々の変化を見せる緑地
②地域の生態系ネットワークや員舎の一部となる、住宅街にある緑地



IDEC 株式会社
「いずみの森」

◇大阪府大阪市淀川区西宮原2-6-64



Excellent Stage 2

2023年NEW

「緑」あるオフィスから
「みどり」と共にある企業緑地へ

新大阪駅に近い都市部に位置するIDEC本社は、周囲を建物で囲んだ中庭を設け、雑踏から切り離された静寂と自然空間をつくりだしています。低層棟屋上にはハーブを中心とした庭園を整備し、野鳥や昆虫を誘引し、緑を目にして息つける環境があります。大切に育てた樹齢60年以上の桜を含む地域の在来種中心の森を再現し、新緑や紅葉のうつろい、集まった都心の生きもの達の動く姿やさえずり、虫の音、葉の揺らぎなど、五感で楽しめるようになっています。緑が少ない周辺地域において野鳥や昆虫が訪れる緑地として、地域への貢献と「安全・安心・ウェルビーイング」への取り組みを推進しています。このIDECの「いずみの森」が自然と人との接点として、地域社会や「みどり」と共にある企業緑地となるよう、地域環境（生物多様性）の保全に向けて取り組んでいきます。

評価ポイント 地域の事実を理解し、積極的に緑を創出した結果、ステークホルダーの憩いの場としてだけでなく、社のプライド構築に繋がっています。認定を契機とした効果的な緑地の活用、取り組みの強化を期待します。

- ◆竣工 2013年
- ◆敷地面積 8,607.26m²
- ◆緑地面積 982m²



- ④中庭には、花や実、紅葉など四季折々の風情が楽しめる樹木を設置
- ⑤ナナカマドの実を食べるヒヨドリ。屋上庭園で見られるナミアゲハ



ダイキン工業株式会社
淀川製作所

◇大阪府摂津市西一津屋1-1



Excellent Stage 2

2023年NEW

北摂の原風景の再現を目指した
森づくりと地域貢献

2015年研究開発施設の新設に合わせて、技術者の憩い・安らぎ、発想の転換の場となるよう、森を造成しました。淀川水系との融合による多様な生態系の復元を目指し、製作所が位置する北摂地域の山々の樹種構成を参考にした自然の森を再現。春は満開のヤマザクラ、夏はせせらぎへのホタルの飛翔やジャコウアゲハの飛来、秋は紅葉、冬はクヌギ・コナラの冬枯れなど、四季折々の自然を楽しめる森に成長しています。従業員による環境保全の取り組みとして、イロハモミジの実生苗を育成、製作所内に移植して敷地全体の緑化も進めています。また、市内の小中学生を対象とした自然体感プログラム等、次世代に環境への理解を深める機会提供のほか、地域の方を対象に森の観察会やホタルの観賞会などを行ない、地域住民とのコミュニケーションの場として活用しています。

評価ポイント 緑が少ない市街地における貴重な緑地空間です。継続的な従業員の自主的活動、地域住民との対話、学童向けの環境教育を評価しました。明確なビジョンの確立、緑地面積の確保と質の向上を期待します。

- ◆操業開始 1941年
- ◆敷地面積 413,000m²
- ◆緑地面積 38,316m²



- ④従業員が育成したイロハモミジの実生苗を製作所内へ移植
- ⑤小中学生を対象に自然を体感できるプログラムの実施



ダイキン工業株式会社
ダイキンアレス青谷

◇鳥取県鳥取市青谷町井手572-5



Excellent Stage 3

「白砂青松の風景」と稀少な
「海浜砂丘の植生」を次世代に引き継ぐ

鳥取砂丘の沿岸西方に位置する井手ヶ浜は、日本を代表する「鳴き砂の海岸」の一つであり、砂丘地形と自然性の高い砂丘植生が良好な状態で残る稀少な場所です。研修施設の整備にあたり、稀少な海浜砂丘環境を守るため、海浜砂丘特有の植生・立地条件をきめ細かく把握して、植生・植栽計画と整備を行いました。整備後も専門家の助言を受けながら、モニタリングや順応型管理を継続しています。順応型の育成管理を行なうなかで、南限分布に近いハマナスの野生株や既存樹木からの苗木増殖に計画的に取り組むなど、地域の自生種の保護と修景利用を実践しています。また、地域の方々や自然環境を学ぶ学生などに、地域でも少なくなっている稀少な海浜砂丘環境を学ぶための研修の場としても活用されています。

評価ポイント 綿密な現地調査と専門家のアドバイス、定期的なモニタリングとワークスルーにより、情報を共有し、将来を見据えた管理計画を実践しています。今後、緑地の更なる魅力向上を期待しています。

- ◆設立 2008年
- ◆敷地面積 72,500m²
- ◆緑地面積 51,000m²



- ④南限自生のハマナスや敷地内の樹木を増殖し植栽として利用
- ⑤地元の子が海浜植生や植生管理を学ぶ場としても利用



北海道石油共同備蓄株式会社
北海道事業所 敷地内緑地 ニナルカの森

◇北海道苫小牧市宇静川307番2号



Excellent Stage 2

2023年NEW

生物多様性を育む豊かな自然
緑地を活用した地域貢献を実現

北海道苫小牧市の東部に位置し、苫小牧東部工業地域地帯内にある北海道石油共同備蓄(株)北海道事業所は、勇払原野が広がる静川丘陵を造成して建設されました。既存緑地の湧水地周辺を整備し、「ニナルカの森」と名付けた緑地には絶滅危惧種として登録されているオジロワシ、オオワシ、クマガラの他、エゾモモンガ等の希少種が確認されています。ニナルカの森で小学生を対象としたホタルの幼虫放流会や近隣の皆様を対象としたホタル観賞会等、自然と触れ合う機会の創出に努めています。この豊かな自然を守り、自然環境との調和及び、生物多様性の保全を図りながら、持続的な管理と継続的な改善を行なっていくことで、地域社会・環境に貢献していきます。

*ニナルカ：アイヌ語で川沿いの大地の上

評価ポイント 緑地を40年にわたり維持管理し、地域のレクリエーション、防災面での貢献を評価しました。樹林地の的確な管理を更に進め、カーボンニュートラル、生物多様性を実現する取り組みを期待します。

- ◆開設 1985年
- ◆敷地面積 1,430,000m²
- ◆緑地面積 480,000m²



- ④自然体験学習の場となる「ニナルカの森」
- ⑤左：ホタル放流会に参加の小学生
- 右：営業が確認されたエゾモモンガ





晴海アイランド トリトンスクエア

◇東京都中央区晴海1-8



Superlative Stage

心地良い花と緑がつくる、時代に合う働き方、暮らし方がある都市空間

晴海アイランド トリトンスクエアは、職・遊・住の複合施設として都市開発が行なわれ、目に鮮やかな花々に彩られた人工地盤上の緑化の先駆的な事例として、開発当初より注目されてきました。

竣工後22年が経過し、豊かな緑地が晴海アイランドトリトンスクエアらしい働き方、暮らし方を創出しています。オフィスカーは木陰のテーブルで仕事をしたり、昼休みには花を愛でながらランチをしたり、午後は木漏れ日の中を散歩してリフレッシュするなど、健康と快適性を適えた働き場となっています。住まう人々は小鳥の声や木々の変化で季節を楽しみ、多様な草花の彩りで心を癒し、子どもたちの笑顔で幸福感を感じます。ここは持続可能な働き方、暮らし方がある心地良い都市空間です。

緑豊かな空間を花々で彩り地域の庭として開放するガーデン、趣向を凝らした緑の活用を評価しました。近隣に創出される緑地との連携により、緑地の経年変化を表すデータの蓄積と発信を期待します。

- ◆設立 2001年
- ◆敷地面積 53,988m²
- ◆緑地面積 7,105m²



- ④色々なタイプのオープンスペースは、全部で敷地の27%におよぶ
- ⑤人工地盤の上で、木々が四季折々の姿を見せる緑のガーデン



日本電信電話株式会社 武蔵野研究開発センター

◇東京都武蔵野市緑町3-9-11



Excellent Stage 3

2030年とその先の未来に向けた武蔵野の自然との共生

当センターの敷地は「旧中島飛行機武蔵製作所」の跡地で、隣接する東京都立武蔵野中央公園とともに、市内でも貴重な自然の残る一角となっており、2018年12月、構内の131本の樹木が武蔵野市の保存樹木に指定されました。2015年より、グリーンカーテンを始め、2019年からは、夏野菜の栽培も行わない植物を育てる・花を観賞する・実を食べるといった楽しみを通じ、自然とふれあう活動を実践しています。

毎年「武蔵野桜まつり」でセンター内の桜並木と技術史料館の公開を行ない、地域コミュニケーション活動を実践しています。

これからも「NTTグループ環境宣言」のもと、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の形成」、「生物多様性の保全」を未来にわたって取り組むべきテーマとし、敷地内緑化及び地域環境活動へ積極的に貢献していきます。

社内システムによる敷地内生物情報の共有と従業員への生物多様性の普及啓発、地域住民への取捨野菜の配布等の交流を評価しました。近隣緑地と連携した生物多様性の向上を期待します。

- ◆開設 1950年
- ◆敷地面積 123,560.75m²
- ◆緑地面積 62,439m²



- ④3階(約13m)まで到達した「グリーンカーテン」の内側
- ⑤桜まつりに開放している技術史料館のオープンガーデン



日本電信電話株式会社 横須賀研究開発センター

◇神奈川県横須賀市光の丘1-1



Excellent Stage 2

横須賀風物百選に選ばれた自然と共生する研究所

三浦半島の先端に位置する横須賀研究開発センターは、武山や大楠丘陵の東麓に囲まれ、四季折々の色彩変化に富んでいることから、横須賀風物百選にも選ばれております。周辺にはインヒドリ、ホオジロなどの野鳥も生息しており、時折、テラスで休息しています。植物調査の結果、敷地内にはナラの森や希少な在来種であるカントウタンポポの群落など、多様な植物が確認され、その保全も重要なことがわかりました。また、「福島ひまわり里親プロジェクト」への参画、社員有志による農業サークル活動、オオキンケイギク(特定外来生物)の除草など、さらなる緑地の価値向上にも取り組んでいます。

これからも「NTTグループサステナビリティ憲章」に基づき、未来にわたって取り組むべきテーマとして敷地内緑化保全を推進していきます。

一貫した維持管理により、在来種や貴重種が生育する草地生態系を有しています。今後は、この環境価値をコミュニケーションツールとして活用し、所内外のステークホルダーと連携することを期待します。

- ◆開設 1972年
- ◆敷地面積 171,300m²
- ◆緑地面積 62,200m²



- ④西側斜面に咲き誇るひまわり
- ⑤敷地内階段に佇むホオジロの幼鳥



株式会社ディスコ 長野事業所 茅野工場

◇長野県茅野市豊平480



Excellent Stage 2

四季折々の表情を見せる八ヶ岳山麓の「森林の中の工場」

ディスコ長野事業所茅野工場は、従業員のみならず近隣地域の方々に、安らぎと想いを届ける存在であることを目指しています。春にはシンボルのコヒガンザクラをはじめ、ソメイヨシノ等の50本以上の様々な桜が敷地全体を彩り、夏は芝生の翠、秋は深紅の紅葉、季節に応じた色彩が八ヶ岳ブルーの空を背景に広がります。隣接した所有山林も適宜な間伐等の管理により、工場や住宅に隣接した立地でありながらフクロウの営巣など小さな生態系のある里山を形成しています。

本年は、植栽管理の中で発生した枝葉を活用した苗木作りなどを進め、循環型の緑地づくりの推進を始めました。

新工場周囲の緑化作業も本格化し、「既存緑地」のメンテナンスに合わせ、「成熟し円熟した緑地」形成を目指します。

着実な緑地整備、事業所全体での緑地のリテラシー向上と協働の仕組みを築き、管理に取り組む点を評価しました。この素晴らしい緑地の限定的な公開と、価値と魅力の情報発信を期待します。

- ◆設立 2006年
- ◆敷地面積 80,967m²
- ◆緑地面積 33,285m²



- ④緑化作業が進む新工場周辺
- ⑤既存緑地からの苗木づくり





株式会社ディスコ
広島事業所 桑畑工場

◇広島県呉市郷原町4010-1

Excellent Stage 3



緑化を通じて地域貢献を果たし、
地域から歓迎される存在を目指す

ディスコでは「生物多様性行動指針」に基づき緑化を進め「森林の中の工場」を目指しています。敷地の外周に桜等を植樹し、春には「春祭り」と称して、社員とその家族で花見の宴を催しています（※近年はコロナ禍のため中止しています）。

2019年春、屋上緑化のある新棟が竣工しました。

また、地域の自然環境との調和を目指し、現在、地元郷原地域の草本を中心に、生物多様性の森林づくりを始めました。

桑畑工場を「森林の中の工場」にするため、2012年に社内にて「グリーンクラブ」を発足させ、社員とその家族で、緑地保全を行なっています。そして、地域の人々と協力しながら、健全な森林を次代に引き継いでいくため、里山の保全活動を実施していきます。

グリーンクラブにより整備されたビオトープは準絶滅危惧種の生物が生息しています。地域の緑化活動や菜園の実施など、ますます地域に貢献する緑地になることを期待します。

- ◆竣工
1991年
- ◆敷地面積
131,486m²
- ◆緑地面積
76,455m²



- ①屋上緑化はつくりける悪い空想となっている
- ②敷地外周に植えた500本の桜の一部



首都高速道路株式会社
おおはし里の杜（大橋換気所）

◇東京都目黒区大橋1-9-1

Excellent Stage 3



目黒川周辺の原風景を再現し、
エコロジカル・ネットワークを形成

おおはし里の杜は、大橋ジャンクションの内側に位置する大橋換気所の屋上に整備した自然再生緑地です。屋上の形状を活して斜面林や草地、小川のせせらぎ、田んぼなど、かつての目黒川周辺の原風景を再現しており、生態系調査や継続的な管理により自然再生緑地を維持しています。

おおはし里の杜では在来種にこだわった植栽を行なうなど生物多様性の保全に取り組み、約300種類の動植物が確認されています。近年は年間60回を超えるオオタカの飛来も確認され、エコロジカル・ネットワークの形成にも寄与しています。

また、自治体との連携イベントや地域の小学生を招待した稲作体験（田植え、稲刈り、脱穀）を毎年開催しており、自然学習や農体験、自ら収穫したお米による食育といった多面的な学習にも寄与しています。

立地を活かす希少生物への棲み処の提供は、当初目標「エコロジカル・ネットワークの形成の実現に近づきつつあります。収集したデータを活用した緑地価値の向上と情報発信等の展開を期待します。

- ◆竣工
2013年
- ◆敷地面積
1,215m²
- ◆緑地面積
908m²



- ①斜面林や水辺の整備により、目黒川周辺の原風景を再現
- ②左：稲刈りの様子
右：敷地内で確認されたオオタカの様子



株式会社グリーン・ワイズ
本社事業所

◇東京都多摩市山王下2-2-2

Superlative Stage



四季の変化を楽しむ「つながる庭」を中心に、
生態系を保全し、地域の一部として貢献

1905年より緑化事業を営むグリーン・ワイズは、2005年に現在の多摩丘陵へ本社を移転。自然と共生できる環境づくりを目指し、「スローグリーン」をテーマに、開発前の地域の生態系の再生と保全に努めています。生産からデザイン、設計、施工、緑地管理やイベント・ワークショップなどの運営と活用、再生までの一貫型の環境事業を展開しています。

緑地管理は、農薬や化学肥料に依存せず、人の健康と生態系への負荷を低減し、自然が持つ力を活かすIPM (Integrated Pest Management) 植栽管理を取り入れています。本社屋上庭園「つながる庭」では、社員の利用のみならず、近隣住民の方々向けに屋上庭園ツアーを企画するなど、地域とのつながりを大切にしています。環境共生を目指し、誰もが安心して楽しめる緑地の開発と管理・運営を日々、続けています。

屋上庭園ではIPMや環境センシング等を継続して行ない、環境共生を目指した緑地の開発・管理がなされています。今後も緑を活用した多様な事業に取り組み、緑の担い手のモデルとなることを期待します。

- ◆開設
2005年
- ◆敷地面積
9,624m²
- ◆緑地面積
4,145m²



- ①本社屋上庭園の紅葉の中にメジロが巣を作り雛が孵りました
- ②近所のベーグル店とのコラボイベントで本社の畑で収穫体験する子どもたち



旭化成株式会社 / 旭化成ホームズ株式会社
あさひ・いのちの森

◇静岡県富士市飯島2番地の1

Excellent Stage 3



原風景の再生を目指した森づくり
生物多様性を育み地域貢献を実現

あさひ・いのちの森は、2007年に当社関連敷地内に作られた約1万㎡の緑地です。富士市沿岸部の原風景再生を目指して樹種を選定し、高低差や水辺のある複雑な地形を作りこみ、森を育ててきました。現在は自然林、里山林、草地、湿地、田、流れ・池それぞれに特徴的な植生が再生し、昆虫類や動物たちも自然に入り込み、生物多様性を育むエコトープとなりました。

この森は子どもたちが自然と触れ合うイベントや社員教育等、環境学習の場として活用されています。また恒例となっているホタル祭りの開催など、地域や社会に開く活動を進めています。10年以上にわたる植生調査結果の対外発表などにも取り組んでいます。2020年からは、地域植生の改善にむけた大学機関との産学共同研究などにも取り組んでいます。

多様な生態系の再生を目指した緑地であり、蓄積されたデータ、知見は産学共同の研究に活用されています。継続的な生物多様性確保の取り組みにより、地域の自然との連続性の向上を期待します。

- ◆旭化成富士支社 営業：1958年 ◆旭化成ホームズ住宅総合技術研究所あさひ・いのちの森 営業：2007年
- ◆敷地面積:562,000m²
- ◆緑地全体:75,795m²
- あさひ・いのちの森：10,234m²



- ①里山林を背景に池、田、畑地と繋がる風景です
- ②大学生による植生学の課外授業の風景です





日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター / 日産先進技術開発センター

◇神奈川県厚木市岡津古久560-2、森の里青山1-1



Superlative Stage

2023 後世へ伝え残すべき緑と調和し
心豊かに働ける場に

日産テクニカルセンター（NTC）は、豊かな自然環境の中で、用地取得時から周囲の自然環境との調和を目指し、施設を取り巻く林地の植生保全に努めています。開発拠点であることから一般の方々への開放が難しい施設ですが、自然緑地の中に整備されたケヤキ並木や桜の街路樹の構内道路を使用し、一般の方も参加できるマラソン大会等のイベントを行なうことで、地域の方々にも緑豊かな構内を見ていただく機会を設けています。日産先進技術開発センター（NATC）は青山学院大学キャンパス跡地に開設し、取り壊した校舎のコンクリートガラを場内で再利用し、植栽の基材として有効活用をしています。屋上庭園や執務エリアにグリーンキューブ（屋上緑化）を配置し、環境負荷低減の機能を発揮するとともに、従業員の知的生産性の向上にも貢献しています。

良好に管理された多様な緑地は、SDGsやカーボンニュートラルの観点から重要と見えます。今後は、CO₂吸収量の計測や生物調査を実施し、環境への貢献度の定量化に取り組むことを期待します。

- ◆稼働開始
NTC：1981年
NATC：2007年
- ◆敷地面積
NTC：1,221,779m²
NATC：204,503m²
- ◆緑地面積
NTC：486,107m²
NATC：105,882m²



- ④昆虫採集のイベントを
楽しむ子どもたち
- ⑤遊歩道の東屋とエビネの
群落と遊歩道でみられる
他の野草、ヤブレガサ、
ムラサキケマン、など



YKK株式会社 黒部事業所 YKKセンターパーク

◇富山県黒部市吉田200



Superlative Stage

2023 地域社会の自然を再生するため
産業観光施設と共に開かれた森を整備

YKKグループが「技術の総本山」として製造・開発拠点をおく黒部市は、黒部川扇状地の中心に広がる美しい自然に囲まれたまちです。しかし都市化等により自然が失われつつあることを受け、2006年より工場内での森づくりを開始、2009年には「ふるさとの森」と産業観光施設が一体となった「YKKセンターパーク」を一般公開しました。森の樹木は遺伝的多様性を保全するため、近隣の山野で採取した種から苗を作り植樹しました。現在は森の成長に伴い哺乳類、鳥類、昆虫類、魚類など、約300種の生物（絶滅が危惧される生物を含む）が集まり、2023年に環境省より自然共生サイト（生物多様性に貢献する緑地）の認定を受けました。ほかにも、桜の庭園「桜花園」や自然の恵みを生かした集合住宅「パッシブタウン」など、市内周辺でも緑地の整備に取り組んでいます。

緑地の保全・創出を重要課題と認識し、持続的に運営管理されています。CO₂吸収量の見える化、敷地内緑化の充実、生きもの調査の取り組みは、地方都市における企業の模範として高く評価しました。

- ◆一般公開 2009年
- ◆敷地面積
うちYKKセンターパーク
82,017m²
- ◆緑地面積
197,689m²
うちYKKセンターパーク
48,299m²



- ④春には敷地内のさくらと
青嵐の山女が美しく映える
⑤ソフトバンク側と協同して
実施している緑地のCO₂吸収量
見える化の取り組みの様子



三菱電機株式会社 受配電システム製作所

◇香川県丸亀市蓬萊町8番地



Excellent Stage 3

2023 瀬戸内海に臨む埋立地の緑化を推進
人と生きものの共生を目指す

当製作所は、1979年に埋立地に建設されました。設立時には緑地整備で公益財団法人国土緑化推進機構の都市緑化功労賞を受賞しました。この設立当時から「緑地を大切にする思想」を引継ぎ、植林・育林を行ない地域生態系に資する環境づくりや、従業員やお客様がリフレッシュできる緑地の整備・強化を行ってきました。2016年からは四季の生物調査を実施、生物多様性保全活動の一環として、従業員が手作りでピオトープを完成、野鳥やトンボなどの休息場所として周辺地域の生態系保全に貢献しています。また、里山保全活動や野外教室などを定期的に開催、近年では希少野生生物の保全活動を通じて、従業員や地域の子どもの環境マインドの育成や社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

「生物多様性への配慮」の環境方針の下、敷地内の多様な緑地の維持管理に取り組んでいます。緑地に関する意識の向上、ノウハウの蓄積による自社の環境教育、社会への還元活動を高く評価しました。

- ◆竣工
1979年
- ◆敷地面積
193,900m²
- ◆緑地面積
28,428m²
- ◆ピオトープ面積
約180m²



- ④相利共生を目指すピオトープ
- ⑤ヒナをつれて訪れたカ
ルガモ



医療法人社団中郷会 新柏クリニックと周辺街区 (めぐりの庭、糖尿病みらい)

◇千葉県柏市新柏1-4-5、1-6、1-7ほか



Excellent Stage 2

2023 森林浴のできるメディカルケアタウン

本サイトは、「最善の医療を、最良の環境で提供すること」を目指し、「森林浴のできるクリニック」をコンセプトとした木造木質架構による開放感のある透析室を持つ120床の透析診療所、糖尿病治療をみどり豊かな環境で実践する糖尿病専門治療センター、透析患者及び糖尿病患者の運動療法実践のためのリハビリテーションガーデンの3つの医療施設と、それらに隣接する雑木林の計4敷地から構成されています。

地域に残る雑木林景観を参照し、人にも生きものにも配慮した植栽計画や、木材を活用した建築物、自然石積み等の共通ディテールを使った街路景観づくりにより、みどり豊かで統一感のある街並みを持つ「森林浴のできるメディカルケアタウン」が形成されています。

「森林浴のできるクリニック」の基本コンセプトの下、緑地の新しい活用を実践・実現しています。今後は、近隣の緑地と連携させ、地域の環境資産として多様な価値の発揮・利用を期待します。

- ◆開設 2017年
- ◆敷地面積
11,527.74m²
(4敷地合計)
- ◆緑地面積
5,206.42m²
(4敷地合計)



- ④開放的な大きな窓のある透析診療所（新柏クリニック）
- ⑤待合室前に広がる緑豊かな庭園（糖尿病みらい）



佐川急便株式会社
佐川急便「高尾100年の森」

◇東京都八王子市元八王子町3丁目・裏高尾町

Excellent Stage 3



人と自然が共生する
里山の再生を目指して

佐川急便では、社会・自然との共生に向けた森林保全活動や環境人材の育成に取り組んでいます。

東京都八王子市の社有林「高尾100年の森」では、「地球温暖化防止に役立つ里山」「人と自然が共生する里山」の再生を「100年」という言葉に象徴される長期的なビジョンのもと、ゆったりとしたタイムスケールで進めています。

また、次世代を担う子どもたちを対象にした「自然体験学習」を継続的に開催しており、2016年には、環境教育等促進法に基づく「体験の機会」に東京都で初めて認定されました。都心からもアクセスの良いこのフィールドでは、小学生の自然体験やユース世代の里山保全体験、社会人の環境活動など、幅広い世代の方々にご利用いただいています。

地域との共生モデル、多様なセクターとの人材育成、新たなビジネス・雇用の促進に向け、100年後を見据えて取り組んでいます。持続可能な里山の保全・再生の好事例として他所への普及を期待します。

- ◆活動開始 2007年
- ◆敷地面積 4,932,723m²
- ◆緑地面積 4,932,723m²



- ①高校生や大学生を対象に、環境保全について考える体験型里山パークの様子
- ②小学生を対象とした、自然体験学習の様子



ローム株式会社
「森の中の本社工場」

◇京都府京都市右京区西院溝崎町21

Excellent Stage 2



地域とのコミュニケーションを育み
自然との調和を目指した「森の中の工場」

ロームは、かねてより自然との調和を目指した「森の中の工場」をコンセプトに本社周辺の緑化整備を行なっています。

2022年3月には、「ロームと地域社会、そして生き物がつながる場所」をコンセプトに、本社敷地内に8,400m²のピオトープを整備しました。シンボルツリーとしてヤマモモを植栽し、多様な生物が行き交う場所づくりに欠かせない役割を果たす水辺や田畑を造設しています。ピオトープには、すでに様々な虫や鳥の姿が見られ、生き物たちの棲み処となりつつあります。田畑は自然共生の大切さを伝える環境教育の場として活用しており、社員やその家族、2023年度からは近隣の小学校を対象にいきものガイドツアーや田植えイベントを実施しました。引き続き本エリアを利用して、地域社会とのコミュニケーションを強化するとともに、生態系保全の施策を推進していきます。

緑地で開催される様々なイベントは、地域住民に十分に認知されています。今後は、社員・地域住民を巻き込んだ緑地整備と交流プログラムにより、更なるレベルアップを期待します。

- ◆設立 1958年
- ◆敷地面積 79,744m²
- ◆緑地面積 19,997m²



- ①社員の家族対象の田植え体験イベント
- ②生態系保全に必要な鳥の巣箱を設置



独立行政法人都市再生機構
UR賃貸住宅 常盤平団地

◇千葉県松戸市常盤平

Excellent Stage 2



60余年の歳月を経て育まれた住空間
の緑を次世代に引き継ぐ

UR都市機構では、良好な居住環境を確保するとともに、地域の自然環境の保全やまちの良好な景観形成に寄与するため、緑地の整備、維持管理を行なっています。

常盤平団地では、団地建設以前からあるマツ林などを保存した緑地に加え、団地建設時に植栽されたケヤキやサクラなどの樹木が60年の歳月を経て大きく生長しています。

団地内の緑地は約20haに及び、周辺の公園や街路樹の緑と合わせて、地域の重要な環境資源、景観資源として認識されています。

2021年からは地域にお住まいの方や地元小学生を対象にガーデントゥアーを開催し、みどりの専門家から緑の身近な楽しみ方を教えてもらう機会を提供。また大学研究の舞台としても団地の緑が活用されています。

敷地内の樹木は、永年の維持管理により、地域の景観資産になっています。今後は、緑地の価値と住民を巻き込んだ活用を検討し、生活とみどりが融合した新たな生活スタイルの提案を期待します。

- ◆管理開始 1960年
- ◆敷地面積 355,000m²
- ◆緑地面積 206,000m²



- ①住棟の間で大きく枝を広げる一葉桜
- ②実際に触れて学べる地元小学生向けのガーデントゥアー



KMバイオロジクス株式会社 菊池研究所/ 明治ホールディングス株式会社
明治グループ自然保全区 くまもとこもれびの森

◇熊本県菊池市旭志川辺1314番地1

Excellent Stage 2



敷地に残る豊かな自然
雑木林の自然環境を環境教育に生かす

KMバイオロジクス菊池研究所内の「明治グループ自然保全区くまもとこもれびの森」は、里山の樹木が生育し、希少な動植物種も確認できる豊かな森です。緑の回廊として、また森林の公益的機能を果たす場としても大切な役割を担っています。私たちはこの森で、従業員やその家族を対象とした自然観察会を開催し、その観察会では希少な植物を守る保護柵の設置や、昆虫の棲み処となる落葉ポール作り、小鳥類の巣箱かけなど、生物多様性向上に向けた活動を行なっています。また、樹種構成の多様化を目指し、森から採取した種から育てた苗木による植樹や、侵入竹の伐採も計画しています。いずれは地域住民との触れ合いの場となるように整備を進めています。今回、豊かな自然が存する森と私たちの保全活動が認められ、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。

起伏に富んだ地形と豊かな生態系が確認でき、多面的な価値を持ったポテンシャルの高い緑地です。この緑地での環境活動を通じて、「自然の恵み」が地域社会へ還元されることを期待しています。

- ◆開設 1985年
- ◆敷地面積 272,250m²
- ◆緑地面積 63,100m²

※KMバイオロジクスは、明治グループです



- ①環境教育の場となる厚生施設「こもれび」と森
- ②左：従業員とその家族による昆虫観察会
- 右：ジョウビタキの姿



東レ株式会社
東海工場

◇愛知県東海市新宝町31番地



Excellent Stage 2

2022
SEGES 緑地を活用した生物多様性保全と
将来を担う人材の育成に取り組む

知多半島臨海工業地帯の北端部に位置し、造成から約50年の歴史ある緑地を有しています。海浜環境の影響と、かつて里山が広がっていた内陸部の環境の両方の影響を受ける場所にあり、工場内の緑地は常緑樹を主体としたエコロジー緑地の構成となっています。

2021年1月に緑地内に水辺ビオトープを造成するなど、生物多様性保全も意識した更なるみどりの価値向上に努めています。また、知多半島臨海部の企業緑地群を中心に活動を展開する「命をつなぐPROJECT」に参画し、学生や近隣企業、行政、専門家などたくさんの関係者と連携し、楽しみながら様々な活動を展開しています。今後も生物多様性保全や次世代を担う人材の育成など、持続可能な社会の実現に向けて緑地の整備・活用に取り組んでいきます。

評価ポイント 先人の思いを受け継ぐ敷地内緑地は、立派な森を形成しています。グループの緑化ガイドラインに基づく計画と管理を高く評価しました。今後は、ビオトープを活用した環境コミュニケーションに期待します。

- ◆ 創業 1971年
- ◆ 敷地面積 582,000m²
- ◆ 緑地面積 94,378m²



- ④ 水辺ビオトープに飛来したハイタカ
- ⑤ 地域住民による企業緑地体験



JESCOホールディングス株式会社
JESCO那智勝浦の保安林

◇和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字市野々字荷馬ヶ野



Excellent Stage 2

2022
SEGES 緑を大切にし、森林の力で
カーボンニュートラル実現に貢献

JESCOグループでは、カーボンニュートラルを最重要課題と捉え、再生可能エネルギー設備建設事業等への注力と、森林保有による脱炭素社会実現に積極的に取り組んでいます。那智勝浦の保安林は面積16.7ha、樹齢40年のスギとヒノキ約5万本の混交による樹林地です。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部である「那智の滝（那智大滝）」に近く、CO₂固定・景観形成、周辺地域の水源涵養の機能を有しています。

吉野出身（材木商）の創業者は、企業発展には林業と同様の辛抱強さが必要と考え、森林の保有、蓼科等の研修所でのエコグリーンクラブ活動等、森林資源を大切に企業風土を育ててきました。この他、奈良県吉野を含め合計約27haの森林を保有することで、都市に立地する企業として、今後も緑地管理による地域への社会貢献活動に取り組んでいきます。

評価ポイント 都市部での環境や地域への社会貢献活動として、緑地管理に取り組む姿勢を評価します。今後は、環境学習、林業を通じた地域振興など森林の多面的機能の発揮につながる活動の展開を期待します。

- ◆ 購入 2017年
- ◆ 対象面積 約167千m²



- ④ 維持管理している森林の状況
- ⑤ 同様の環境を有している、隣山に位置する世界遺産「那智の滝」



戸田建設株式会社
筑波技術研究所

◇茨城県つくば市要315



Excellent Stage 2

2022
SEGES 研究活動を通じて地域に根ざした
植生保全と生物多様性向上を推進

技術研究所があるつくば市は、北部に筑波山があり自然豊かな地域ですが、開発が進むことで緑地が減少しつつあります。当研究所は、1982年に開所して以来、生態系ネットワークの形成に貢献できるよう緑化活動を推進してきました。主な活動として、つくば地域に生育していた貴重種を含む在来種を移植して造成した、地域性外来植物ビオトープ「つくば再生の里」のモニタリングを継続的に実施し、植生の保全を行なっています。また、グリーンオフィス棟では壁面や屋上など緑化技術の調査研究を行なっています。これらの活動については、社内外の研修・見学による環境教育として展開しています。今後も地域の生物多様性の向上を図るとともに、CO₂の吸収や固定によるカーボンニュートラルへの取り組みとしても推進し、緑化活動を続けていきます。

評価ポイント 地域性植物を利用したビオトープ、壁面緑化技術の調査研究、社員研修や社外からの見学者の受け入れ等、積極的に取り組む姿勢を評価します。緑地や緑化空間の公開、緑化技術の発信に期待します。

- ◆ 開所 1982年
- ◆ 敷地面積 22,247.66m²
- ◆ 緑地面積 5,126.7m²



- ④ 環境教育の場となるビオトープとZEBを達成したグリーンオフィス棟
- ⑤ 左：小学生の見学状況 右：昆虫の林ゾーンに咲くヤマユリ



株式会社ノーザンホースパーク
ノーザンホースパーク

◇北海道苫小牧市美沢114-7



Excellent Stage 3

2022
SEGES 馬事文化の振興・発展と
北の恵みを活かした社会貢献

ノーザンホースパークは北海道の雄大な自然と馬の魅力にふられるテーマパークです。園内には16のテーマに分かれた面積合計約1万坪の広さを誇るガーデンがあり、ダンボールを活用したマルチング等、人と環境にやさしいガーデンづくりを心がけています。園内には、リスや鹿、野鳥が訪れ、白樺並木を眺めながら乗馬、馬車など1年を通じて北海道の気候を活かしたアウトドアアクティビティが楽しめます。

「馬事文化の普及」を使命に、馬の個性や長所を活かした世界的にも珍しいボニーショーの開催、北海道のサラブレッド生産の歴史、馬の生態を展示する資料館など、楽しみながら学べる設備も展開しています。さらに、引退競走馬のセカンドキャリア支援、馬の排泄物を堆肥化し近隣牧場で資源として利用するなど、持続可能な社会を目指しています。

評価ポイント 人と馬がともに安心・安全に過ごせる広大な緑地として30年以上にわたって良好に維持管理されています。楽しみながら自然とのふれあいを学べる貴重な施設や多くの社会貢献の取り組みを高く評価します。

- ◆ 開園 1989年
- ◆ 対象面積 約46万m² (一部ノーザンファームを含む)



- ④ 秋には紅葉を楽しめる
- ⑤ エゾリスなどの生きものが生活している



有限会社ノーザンレーシング 植苗社有林

◇北海道苫小牧市宇植苗

Excellent Stage 1



いきものとの共生を目指した
持続可能な森林経営

ノーザンレーシングが所有する植苗社有林では「持続可能な森林経営」のための基準指標として、「モントリオールプロセス[®]」を採用しています。植苗社有林周辺は胆振地域の野生動物の廊下（各種野生動物が往来を果たす通り道）の一部として利用されていることが知られており、木材生産と生物多様性の保全の両立を目指した森林経営を実施しています。具体的には、森林GISを導入して、木材資源量の把握、CO₂吸収量・固定量の把握、営巣する猛禽類の高利用域の把握と営巣環境の整備、ヒグマの行動圏の把握と廊下の整備、希少植物等の保全など、様々な専門家と共にいきもの共生する森林経営計画を作成、樹立しており、事業にて排出されるCO₂の削減に貢献しています。今後はエコツアーや植樹体験等の環境教育に関わるイベントを実施していく予定です。

市街地周縁の樹林として貢献する緑地です。大学・自治体・林業専門家と連携し、木材生産、生物多様性保全、地球温暖化対策等の調査結果を森林経営に反映する取り組みを高く評価します。

- ◆取得 2004年
- ◆敷地面積 9,455,024 m²
- ◆緑地面積 9,455,024 m²

※森林経営の持続可能性を把握・分析・評価するための「基準・指標」の策定・適用に向けた国際的取り組み。

- ④社有林内に営業するオオタカ
- ⑤間伐にて出されたカラマツ



緑地の価値 の見える化

活動成果の 蓄積と 取りまとめ

次のステップ に向けた 構想



3. SEGES認定を受けた民間企業による緑地、環境の活用事例



30by30とは 自然共生サイト 30by30アライアンス 参加団体 ログマークダウンロード

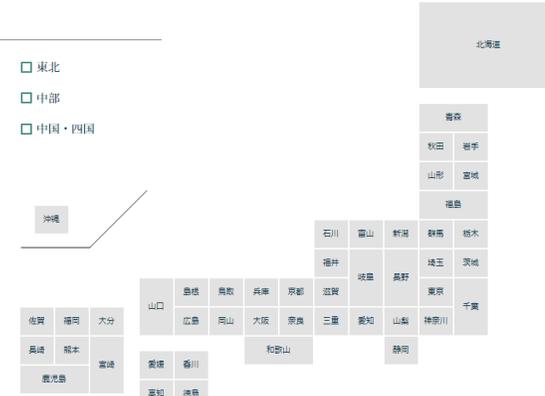
自然共生サイトに認定されたサイト一覧を事例とともに紹介しています。

以下よりエリアを選択して、日本地図をクリックすることで、各サイトの取組情報を確認することができます。

2023年度前期に認定された約120件をご紹介します。認定サイトの写真・詳細については順次公開してまいります。

すべての都道府県

- 北海道
- 関東
- 近畿
- 九州・沖縄
- 東北
- 中部
- 中国・四国



<https://policesenv.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/index.html#download>

都市の緑3表彰
色かな未来に繋がるその実績に贈る 歴史ある都市緑化アワード

都市の緑No.1
内閣総理大臣賞

第43回
緑の都市賞

みどりの事業の実績を表彰します

緑の市民協働部門
【応募対象】主に市民団体
活動推進委員会2023年度

緑の事業活動部門
【応募対象】主に民間事業者

緑のまちづくり部門
【応募対象】主に市区町村

表彰
4/1土~6/30金

第11回
みどりの社会貢献賞

「みどりの社会貢献賞」は、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献や、市民多様性保全等の環境改善等に顕著な功績が認められ、全国的な取組となる企業の取組を表彰するものです。地域社会への貢献、環境改善への貢献、先導性・広域性の3つの審査基準に基づき、選定されます。

第11回 みどりの社会貢献賞 受賞企業

YKK AP株式会社
「東北製造所」(宮城県大崎市)

世界農業遺産大崎緑土に浮かぶ「森の中の工場」

YKK AP株式会社 東北製造所は1974年の創業時から「森の中の工場」を理念に掲げ、集積地約150万坪の未利用地を建設することから始め、約10年間で完成した「森の中の工場」は、環境と共存する工場として知られています。特に本館では、春には緑のトンネルが伸び、季節は緑と赤のコントラストが美しいです。工場施設の一部は木造で、自然と調和しています。

大和リース株式会社
「プランチ仙台」(宮城県仙台市)

通いやすくなる 新しい出会いの場

プランチ仙台「プランチ」は、仙台市の中心部にあり、交通の便がよい商業施設です。施設内の広大な緑地スペースは、自然と調和した空間を提供し、市民多様性保全を目的としています。緑地は商業施設としての特性を活かしたイベント開催、各種地域貢献活動を通じて、市民多様性保全に貢献しています。

住友ゴム工業株式会社
「白河工場」(福島県白河市)

緑化・社会貢献を通じ地域に愛される工場へ

「自然との調和」を理念とし、「緑化」の推進に力を入れています。工場敷地の緑化と緑地保全活動を推進しています。また、「自然との調和」を理念とし、市民多様性保全に貢献しています。工場敷地の緑化と緑地保全活動を推進しています。

都市のオアシス SEGES シージェス 認定サイト

素敵な緑の空間に行ってみよう!

『都市のオアシス』認定サイト (2023年4月現在) **東京都**

- 1 西武池袋本店 9階屋上 食と緑の空中庭園 **池袋駅**
- 2 サンシャインシティ サンシャイン広場 **東池袋駅**
- 3 中野マルイ 四季の庭・水辺の庭 **中野駅**
- 4 京王リトナード 永徳町 ふくにわ **永徳町駅**
- 5 玉川島島屋 ショッピングセンター **二子玉川駅**
- 6 タカシマヤ タイムズスクエア **新大塚駅**
- 7 新宿マルイ本館 屋上庭園 Q-COURT **新宿三丁目駅**
- 8 伊勢丹新宿本店本館 アイ・ガーデン **新宿三丁目駅**
- 9 大日本印刷 市谷の社 **市ヶ谷駅**
- 10 三井住友海上火災保険株式会社 駿河台の緑地とECOM駿河台 **御茶ノ水駅**
- 11 東京ガーデンテラス紀尾井町 **水田町駅**
- 12 赤坂インナーシティAIR **新大塚駅**
- 13 虎ノ門ヒルズ 森タワー **虎ノ門ヒルズ駅**
- 14 アークヒルズ **六本木一丁目駅**
- 15 六本木ヒルズ **六本木駅**
- 16 恵比寿ガーデンプレイス **恵比寿駅**
- 17 ThinkPark Forest **大塚駅**
- 18 品川シーズンテラス **品川駅**
- 19 Granpark (グランパーク) **田町駅**
- 20 GINZA SIX ガーデン **銀座駅**
- 21 三越銀座店 銀座テラス **銀座駅**
- 22 東京スクエアガーデン 京橋の丘 **京橋駅**
- 23 大手町タワー 大手町の森 **大手町駅**
- 24 大手町ファーストスクエア ファーストスクエアガーデン **大手町駅**
- 25 三越日本橋本店 日本橋庭園 **三越前駅**
- 26 増海アイランドトリトンスクエア **船場駅**
- 27 コクーンシティ **さいたま新都心駅**
- 28 モリパーク アウトドアヴィレッジ **船場駅**

46の都市のオアシス、みどころが載っています!

白い旗子は2023年春までに新たに追加したオアシスです!

p14-15 神奈川、千葉、p16-17 大阪、p18-20 札幌、仙台、富山、名古屋、京都、滋賀、広島、岡山にも都市のオアシスがあります!

池袋

東京

埼玉・東京



IKE·SUN PARK

ご参加
お待ちしております



『IKEBUKURO HANA CIRCLEガーデンツアー参加者募集!』

日時: 2022年6月2日(木) 11:00~15:00

募集人数: 先着10名様 (対象年齢: 小学生以上(保護者同伴必須))
参加費: 大人3,000円・子供2,000円 (緑込み・ランチ代込み・ノベルティをプレゼント)

当日のタイムスケジュール

- 11:00 イケ・サンパーク管理事務所前に集合
- 11:00 【イケ・サンパーク】植栽ガイド
- 11:30 コミュニティガーデンにて「エシカル箱」の苗植え体験
- 12:00 園内飲食店「EATGOODPLACE」にて昼食
“循環”をテーマにした特別メニュー
- 13:00 サンシャインシティへ移動
- 13:15 【サンシャインガーデン、サンシャインビレッジ】植栽ガイド
- 14:00 西武池袋へ移動
- 14:30 【西武池袋本店9階屋上 食と緑の空中庭園】植栽ガイド
- 15:00 解散

※屋外活動のため、多きやうい様でご参加下さい
※水分補給など各自でご準備下さい
※雨天中止・小雨決行
主催: としまとりの観光公園
協力: サンシャインシティ・西武池袋本店
お花がかり(株)・(株)グリーンバル・EATGOODPLACE



予約受付: イケ・サンパーク公園管理事務所
受付時間: 8時~17時
電話: 03-6914-1782

池袋を代表する緑地を日ごろから手入れされているプロの方々から、花やみどりの魅力を直接ご案内いただくことができる、とても貴重な機会です。また昼食には人気カフェ「EAT GOOD PLACE」にて、この日だけの特別MENUを楽しむことができます。

先着10名、公園管理事務所窓口にて事前予約制となります。

参加費や開催時間、その他注意事項は上記画像をご確認ください。

SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）が、
GRESB2023年評価より「グリーンビル認証」の一つとして
報告できるようになりました。



公益財団法人都市緑化機構（会長 市川 晃）では、民間事業者が所有、管理する緑地の価値を、その取組が市民や環境、社会にとっていかに素晴らしいものなのかを客観的に評価する「緑の認定」制度 SEGES（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）を運営しています。

この度、SEGESの3部門「そだてる緑」「都市のオアシス」「つくる緑」は、GRESB認定評価チーム（GRESB Certification Evaluation team）の審査を受け、2023年評価より「グリーンビル認証」の一つとして報告できるようになりました。

● GRESB <<https://www.gresb.com/nl-en/>> とは

GRESBは、実物資産（不動産・インフラ）を開発・保有・運用する会社やファンドを対象に、その環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価であり、またその運営組織の名称です。GRESBは、不動産の既存投資物件や新規開発・大規模改修プロジェクトでの取組みを評価する「GRESBリアルエステイト」と、インフラファンドやアセットにおける取組みを評価する「GRESBインフラストラクチャー」に大別されます。また、情報開示の充実度を測る「開示評価」もリアルエステイト、インフラストラクチャーの双方で実施されています。

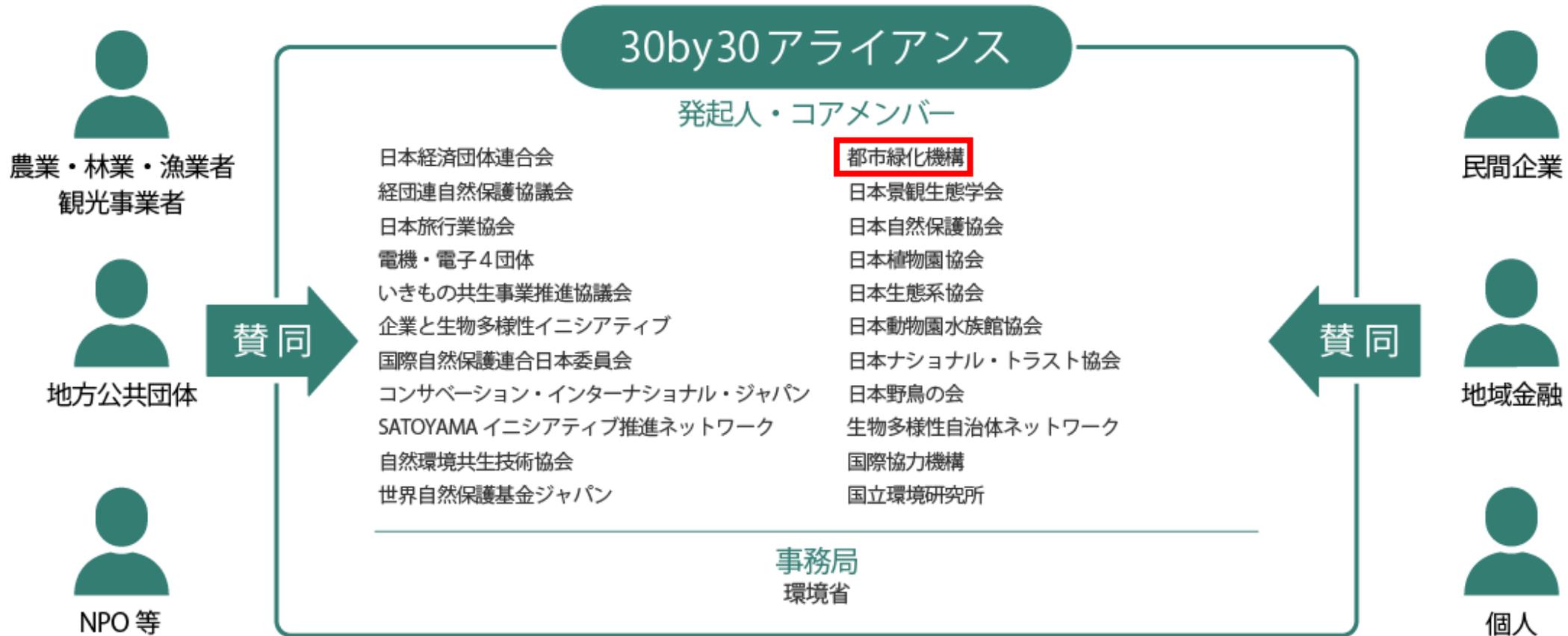
GRESBの詳細については、CSRデザイン環境投資顧問株式会社 <<http://www.csr-design-gia.com/index.html>> または、GRESBのホームページ（英文） <<https://www.gresb.com/nl-en/>> をご覧ください。

GRESB「リアルエステイト」における評価部門

GRESB Benchmark Scores					
GRESB Real Estate Benchmark					
	Aspect	Code	Score	Weight Component	Weight Total
Management	Leadership	LE	7	23%	7.0%
	Policies	PO	4.5	15%	4.5%
	Reporting	RP	3.5	12%	3.5%
	Risk Management	RM	5	17%	5.0%
	Stakeholder Engagement	SE	10	33%	10.0%
	Total		30		
Performance	Risk Assessment	RA	9	13%	9.0%
	Targets	T	2	3%	2.0%
	Tenants & Community	TC	11	16%	11.0%
	Energy	EN	14	20%	14.0%
	GHG	GH	7	10%	7.0%
	Water	WT	7	10%	7.0%
	Waste	WS	4	6%	4.0%
	Data Monitoring & Review	MR	5.5	8%	5.5%
	Building Certifications	BC	10.5	15%	10.5%
		Total		70	
	GRESB Score		100		

参照：スコアシミュレーション <<https://www.gresb.com/nl-en/real-estate-assessment/>>

アライアンスの全体構造



令和5年度前期「自然共生サイト」認定結果

No	サイト名	申請者名	所在地(都道府県)	所在地(市町村)
1	マリアルの森 千福山林	三菱マリアル株式会社	北海道	札幌市
2	出光産油(株) 北海道製油所	出光産油株式会社	北海道	苫小牧市
3	京畿野鳥保護区フレシマ	公益財団法人日本野鳥の会	北海道	稚内市
4	牧子遺跡	北海道農林内町	北海道	寿都郡共和町
5	赤羽アヲ林	北海道農林内町	北海道	寿都郡共和町
6	北海道大学南校研究林	国立大学法人北海道大学	北海道	南支庁網走市
7	北花の森	一般財団法人東亜森林研	北海道	広尾郡大樹町
8	横水メディカル岩手工場	横水化学工業株式会社	岩手県	八幡平市
9	「山音ふるさとの社再生プロジェクト」の海岸防災林	資成株式会社	茨城県	仙台市
10	所さんの目がテン!かがくの森	日本テレビ放送網株式会社	茨城県	
11	つくばこどもの森教育園	社会福祉法人花塚福祉会 つくばこどもの森教育園	茨城県	つくば市
12	つくば生きものの緑地 in 国立環境研究所	国立研究開発法人国立環境研究所	茨城県	つくば市
13	芦田建設 茨城技術研究所	芦田建設株式会社	茨城県	つくば市
14	横高ゴム(株)茨城工場	横高ゴム株式会社	茨城県	小美玉市
15	もり田守センター	合同会社 もり田守	栃木県	佐野市
16	サントリー 天然水の森 日光懸樋	サントリーホールディングス株式会社	栃木県	日光市
17	モビリティリゾートもてぎ	本田技研工業株式会社	栃木県	芳賀郡茂木町
18	サンデンフォレスト	サンデン株式会社	群馬県	前橋市
19	尾瀬(尾瀬ヶ原・尾瀬沼・尾瀬川森林、東京電力リニューアブルパワー(株)所有分)	東京電力ホールディングス株式会社	群馬県	利根郡片品村
20	トトロの森	公益財団法人トトロのふるさと基金	埼玉県、東京都	所沢市、入間市、東村山市、東大和市、瑞穂町
21	飯粒・西沢の森	株式会社西沢リアルティソリューションズ	埼玉県	飯粒市
22	天童山麓自然・ほとけじょうの森	NPO法人天童山・多喜山山の自然を守る会	埼玉県	飯粒市
23	TOPPANホールディングス(株)総合研究所	TOPPANホールディングス株式会社総合研究所	埼玉県	北葛飾郡杉戸町
24	健康共生の森	学校法人健康学園 健康学園大学	千葉県	千葉市
25	下田の森	特定非営利活動法人下田の杜山山フォーラム	千葉県	柏市
26	NEC筑波事業場(四つ流)	日本電気株式会社	千葉県	松戸市
27	新津グリーンセンター(旧柳宮林業試験場)	内山緑地建設株式会社	千葉県	津市
28	竹中工務店 資材研究所 園の森 SHI-RN-BE*	株式会社竹中工務店	千葉県	印西市
29	グリーンポート エコ・アダリパーク	成田国際空港株式会社	千葉県	山武郡芝山町
30	三井住友海上観光ビル及び観光台新館	三井住友海上火災保険株式会社	東京都	千代田区
31	大手町タワー	東京建物株式会社	東京都	千代田区
32	東京ガーデンテラス紀尾井町 光の森	株式会社西沢リアルティソリューションズ	東京都	千代田区
33	ホトリア広場	三菱地所株式会社、ENEOSホールディングス株式会社、ダイビル株式会社、東京MNI特定目的会社、ジャパンリアルエステイト投資法人	東京都	千代田区
34	大日本印刷(株) 市谷の杜	大日本印刷株式会社	東京都	新宿区
35	豊水建設「再生の村」	豊水建設株式会社	東京都	江東区
36	下丸の森	キヤノン株式会社	東京都	大田区
37	杉並区立立野緑川公園水鳥苑	東京都杉並区・東野井川かっぱの会	東京都	杉並区
38	八王子市豊島公園	NPOフェュージョン豊島	東京都	八王子市
39	CU三鷹キャンパスの森	学校法人国際基督教大学	東京都	三鷹市
40	日立製作所南分所サイト 協創の森	株式会社日立製作所	東京都	国分寺市
41	大林建設研究所緑地林	株式会社大林	東京都	津田市
42	豊谷エナジールセンター	株式会社 豊谷エナジーソリューション	東京都	多摩市
43	サントリー天然水の森 とうまう秋川	サントリーホールディングス株式会社	東京都	あきる野市
44	チーズガーデン	小田部 実隆	東京都	西東京市
45	つなぐ森	新村不動産ホールディングス株式会社	東京都	西多摩郡奥多摩町
46	E N E O S (株) 板橋製油所 中央緑地	E N E O S 株式会社	神奈川県	横浜市
47	AGC(株)AGC横浜テクノロジセンター 観音緑地エリア	AGC株式会社AGC横浜テクノロジセンター	神奈川県	横浜
48	ホトケドジョウのビオトープと緑地林	学校法人横浜学園寺学高等学院	神奈川県	川崎市
49	野しかがみ田緑地	神奈川県横浜貿易	神奈川県	横浜貿易
50	豊島緑地(くずびの広場)	神奈川県横浜貿易	神奈川県	横浜市
51	Y K Kセンターパーク ふるさとの森	Y K K 株式会社	富山県	高岡市
52	串ハの森 高岡	串原パルプ工業株式会社	富山県	利水市
53	栲の森(クヌギ単種林)	株式会社ノトハツ	石川県	珠洲市
54	日本製紙 鳳来育林	日本製紙株式会社	山梨県	静岡市
55	Workation Place 花伝会	エヤマ株式会社	長野県	長野市
56	シャワー・メルシャン 親子グリーンヤード	キリンホールディングス株式会社	長野県	上田市
57	中央卸売工業 ひるがの豊原の森	中央卸売工業株式会社	岐阜県	高山市
58	リヨースの森	株式会社リヨー	岐阜県	恵那市
59	ブラザーの森 緑上	ブラザー工業株式会社・岐阜県都市・郡上森林組合	岐阜県	郡上市
60	自衛隊水地	自衛隊水地保全活用推進協議会	静岡県	静岡市
61	丹川山林	十山株式会社	静岡県	静岡市

No	サイト名	申請者名	所在地(都道府県)	所在地(市町村)
62	富士通沼津工場	富士通株式会社	静岡県	沼津市
63	ありひ・いのちの森	旭化成株式会社・旭化成ホームズ株式会社	静岡県	富士市
64	住友ベークライト(株)静岡工場ビオトープ 樹いの杜	住友ベークライト株式会社	静岡県	藤枝市
65	住友不動産の森	住友不動産株式会社	静岡県	藤枝市
66	サントリー天然水の森 しずおか小山	サントリーホールディングス株式会社	静岡県	駿東郡小山町
67	㈱アヲノ中部 本店ビル屋上ビオトープ	株式会社アヲノ中部	愛知県	名古屋市中区
68	鳥川ホテルの森	愛知通商株式会社	愛知県	岡崎市
69	人間環境大学 岡崎キャンパス演習林	学校法人人間学園 人間環境大学	愛知県	岡崎市
70	東栄多工機パードピア	株式会社東田自動機	愛知県	半田市
71	トヨタテクノアカリセンター下山	トヨタ自動車株式会社	愛知県	豊田市、岡崎市
72	びおとーび	トヨタ自動車株式会社	愛知県	豊田市
73	トヨタの森	トヨタ自動車株式会社	愛知県	豊田市
74	ピオトープながおか	NPO Longlife Net	愛知県	稲沢市
75	豊田合成 早稲町工場ビオトープ	豊田合成株式会社	愛知県	稲沢市
76	知多半島グリーンベルト	NPO法人 日本エコロジスト支援協会	愛知県	東海市、知多市、大府市
77	ソニーグループパルムニューファクタリング&オペレーション(株)豊田サイト	ソニーグループ株式会社	愛知県	豊田駅前市
78	百鬼海岸自然共生サイト	三重県四日市市・緑地区まちづくり検討委員会・NPO法人 四日市エコガム保存会	三重県	四日市市
79	鳥山山公園(通称「みちくさ」)	三重県鳥山市	三重県	鳥山市
80	羽根の森	公益財団法人大原自然環境保全協会	三重県	伊賀市
81	トヨタ三重宮川山林	トヨタ自動車株式会社	三重県	多気郡大台町
82	叶 匠庵 庵養生の森	叶 匠庵	滋賀県	大津市
83	藤びわ湖・山門水源の森	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会	滋賀県	栗山町
84	パナソニック 津工場「共存の森」	パナソニック株式会社	滋賀県	津市
85	津産産物をつまむ森林林	津産産物株式会社	滋賀県	津市
86	津市環境教育センター 生物多様性保全エリア	津市環境株式会社	滋賀県	栗山町
87	サントリー天然水の森 近江	サントリーホールディングス株式会社	滋賀県	膳所市
88	横水樹脂加工工場 生物多様性保全エリア	横水樹脂株式会社	滋賀県	膳所市
89	京田舎工業(株)京都事務所緑地内の桜木裏	京田舎工業株式会社京都事務所	京都府	京都市
90	新田山シアター 新・華山	横水ハウズ株式会社	大阪府	大阪府
91	新ダイビル堂島の杜	ダイビル株式会社	大阪府	大阪府
92	関西国際空港 人工護岸 透透サイト	関西エアポート株式会社	大阪府	豊後町、泉南市
93	阪神セブンの海の森	一般財団法人セブンイレブン記念財団	大阪府	阪南市
94	エスベックパンドの森	エスベック株式会社	兵庫県	神戸市
95	神戸の森/山崎・朝田・たぬ	兵庫森神戸市	兵庫県	神戸市
96	パンチ神戸リアルエス都市 ナガヤ緑地	大和リース株式会社	兵庫県	神戸市
97	兵庫県立 尼崎の森中央緑地	兵庫県	兵庫県	尼崎市
98	コクノトリ育心禅聖寺水田	兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究所・農事総合法人 コクノトリの経営農研会	兵庫県	豊岡市
99	コクノトリ育心寺緑の草地山	兵庫県豊岡市	兵庫県	豊岡市
100	サントリー天然水の森 ひょうご西脇門前山	サントリーホールディングス株式会社	兵庫県	西脇市
101	稲屋の緑地 池沼緑地群	今住悦高	兵庫県	宍粟市
102	湯島の森	一般財団法人大和森林管理協会	奈良県	北葛城郡王寺町、上牧町
103	花玉(株)和歌山工場	花玉株式会社 和歌山工場	和歌山県	和歌山市
104	鳥取県八頭郡川原町緑地保全エリア	一般財団法人鳥取県地域教育推進局・農事総合法人 八頭創生協議会	鳥取県	八頭郡八頭町
105	南都町の草地山山ビオトープ	一般財団法人鳥山山生物多様性プロジェクト	鳥取県	西伯郡南都町
106	アサヒの森(新野村山)	アサヒグループジャパン株式会社	広島県	庄原市・三次市
107	横山山林(経済性と環境性を両立させた実用林による多様な緑地の森)	NPO法人 持続可能な環境共生林業を実現する自然林管理推進協会	徳島県	那賀郡那賀町
108	愛媛県今治市国田ヶ浜海岸	愛媛県ライオン株式会社	愛媛県	今治市
109	住友化学工場 新代島	住友化学株式会社	愛媛県	新居高島市
110	玉子の森/米塚ヶ内山林	玉子ホールディングス株式会社	愛知県	豊田郡四万十町
111	北九州市薬師ビオトープ	北九州市	福岡県	北九州市
112	対馬もりびとの森(真口スス山)	対馬もりびと協賛組合	長門県	対馬市
113	明治グループ自然保全区 くまもと くれびの森	KM/マイプロジェクト株式会社	熊本県	菊池市
114	阿蘇グリーンストックトラスト地(翠峰1区)	公益財団法人阿蘇グリーンストック	熊本県	阿蘇市
115	阿蘇グリーンストックトラスト地(三角坂/2区)	公益財団法人阿蘇グリーンストック	熊本県	阿蘇市
116	Present Tree in くまもと山都	認定特定非営利活動法人 環境リノベーション研究所・下田美穂・熊本県上益城郡山都町・緑川森林組合	熊本県	上益城郡山都町
117	田島山麓・みんなの森プロジェクト	田島山麓株式会社	大分県	日田市
118	九州電力緑育林(大分県:甲治高尾山)	九州電力株式会社	大分県	竹田市
119	大塚環境 宮崎三郎山林	大塚環境株式会社	宮崎県	北諸県郡三股町
120	豊洋村(緑の森)	豊洋村株式会社	宮崎県	豊後郡高瀬町
121	アマミタクラサギ・トラスト3号地	公益財団法人日本ナショナル・トラスト協会	鹿児島県	大島郡鶴岡町
122	愛媛大島 真来(まご)の森 杉木・楓葉・大島	一般財団法人 愛媛県保存会	鹿児島県	大島郡鶴岡町

民間投資による良質な都市緑地の確保に向けた評価のあり方検討会 ～中間とりまとめ～概要版

背景・現状	カーボンニュートラル/ネットゼロに向けた動き ・パリ協定(2020年以降の温室効果ガス削減等)の採択 ・2050年カーボンニュートラル宣言や2030年度温室効果ガス46%削減目標の表明	都市を取り巻く社会情勢の変化 ネイチャーポジティブに向けた動き ・昆明・モントリオール生物多様性枠組の採択(生物多様性に配慮した都市計画に言及) ・生物多様性国家戦略2023-2030の決定	Well-beingへの希求 ・SDGsの一つとして全ての人のWell-beingの促進が位置づけ ・新型コロナウイルスを契機にWell-beingへの希求が加速化
	ESG投資拡大 ・世界のESG市場は拡大しており、世界のESG投資残高に占める日本の割合は最大の成長率 ・ESG投資のうち、適切なリスク・リターンを確保しながら環境・社会・経済へのインパクト(効果)を意図して取り組む「インパクト投資」の一層充実が期待	ESG投資等の世界的な広がり ※「ESG投資」や「インパクト投資」は融資も含む	TCFD、TNFD開示に向けた動き ・TCFDやTNFDなど、企業による気候関連・自然関連の財務情報を開示する動き ・TCFD開示は2022年4月以降、東証プライム市場上場企業に対して求められており、TNFDは2023年9月に、最終提言(ver1.0)を公表予定

グリーンインフラとして多様な機能を有する都市緑地の質・量の確保を官民で連携して一層推進

都市緑地が有する多様な機能

美しい景観や歴史文化の形成 温室効果ガスの吸収 ヒートアイランド現象の緩和 避難場所等の形成や延焼の防止 雨水の流出抑制
騒音・大気汚染等の公害防止 生物の生息・生育環境の確保 コミュニティの形成 レクリエーションの場の提供 環境教育 健康の増進 観光振興 等

● 気候変動対策、生物多様性の確保、Well-beingの向上 これらの課題に対して、緑地の持つ機能に新たな期待

事業や規制だけでなく、市場の原理で良質な緑地の保全・整備が進むようにするために民間の投資や活動を誘導するという観点が必要

→ **評価・認証制度**

良質な都市緑地を確保する取組の意義や環境面・社会面でのインパクトを見える化 事業者が様々な主体にその取組の意義や企業価値を訴求することが可能に 良質な都市緑地が投資家や消費者等に選択されやすくなることによる資金の流れの創出

国として取り組む必要性	都市の緑地のあるべき姿の提示と具現化への政策的誘導	都市の緑地の機能を活かし、地球、地域、人のそれぞれの課題に同時解決のアプローチを図ることが求められる。そのため、国際的・地域的な観点を踏まえ、人中心の考え方を取り入れつつ国が一貫した方針を目指すべき姿として示すとともに、制度を構築
	世界目標に対する先導的役割	2050年までのカーボンニュートラル/ネットゼロや2030年までのネイチャーポジティブなどの国際的な目標の達成
	投資促進に資する中長期的な方針の提示	国による中長期的な視点に立った国際的な認知の獲得、事業者や投資家にとって公共からの持続的な支援に対する期待や予見可能性を高めることによる国内外の市場からの安定的で中長期的な投融資の促進

評価・認証制度の仕組み

評価・認証制度として必要な事項	評価の視点・項目	評価の単位	対象地域	対象主体
使いやすく社会的に認知されていること (国際的な基準に合致、評価内容等の開示、柔軟な更新、科学的・定量的評価等)	<p>地域の価値向上</p> <p>気候変動対策 生物多様性の確保 Well-beingの向上</p> <p>土地・地域に即する 国・都府県に即する</p> <p>マネジメント・ガバナンス</p> <p>土地・地域特性の把握・反映 行政計画等の把握・適合等</p>	街区単位を標準	都市計画区域内の都市緑地 (樹林地、草地、人工地盤上の緑地、屋上・壁面緑化、農地等)	民間事業者 (地方公共団体も含む)
評価・認証制度の枠組み 国が第三者機関を認証制度含めてオーソライズした上で当該機関が評価・認証		○地域コミュニティの形成、にぎわいの創出等 ○生態系ネットワーク・風の道の形成、レジリエンス向上等 (気候変動対策) ○高木の植栽・生育、ヒートアイランド対策、暑熱対策、雨水の貯留浸透等 (生物多様性の確保) ○緑地・水域の保全と創出、階層構造の形成、希少種の保護、在来種の利用等 (Well-beingの向上) ○健康の増進、生産性の向上、ユニバーサルデザイン、安全・安心な空間、環境教育の実施等 ○維持管理計画の策定、モニタリング計画の策定、実施体制の確保等 ○土地・周辺地域の特性・成り立ちの把握・反映、行政計画等の把握・適合等	認証取得のインセンティブ ○関連する他の制度との連動 本認証を取得することで、GRESBや環境省の自然共生サイト等の他の認証制度等を活用する際のメリットとなるような連動 ○財政支援等の対応 金銭的なインセンティブとしてコスト的なメリット及び認証取得後の緑地の整備等に関する技術的助言等の支援 ○OTNFD等への対応 TNFD開示における不動産セクター等の説明ツールとしての活用	
評価の対象 ①新たに緑地を創出する事業 ②既存緑地の質の確保・向上に資する事業				
評価のタイミング ・事業の計画段階 ・継続的なモニタリング				

ご静聴、ありがとうございます。